

332

429



始



332

429

拓殖博覽會事務報告

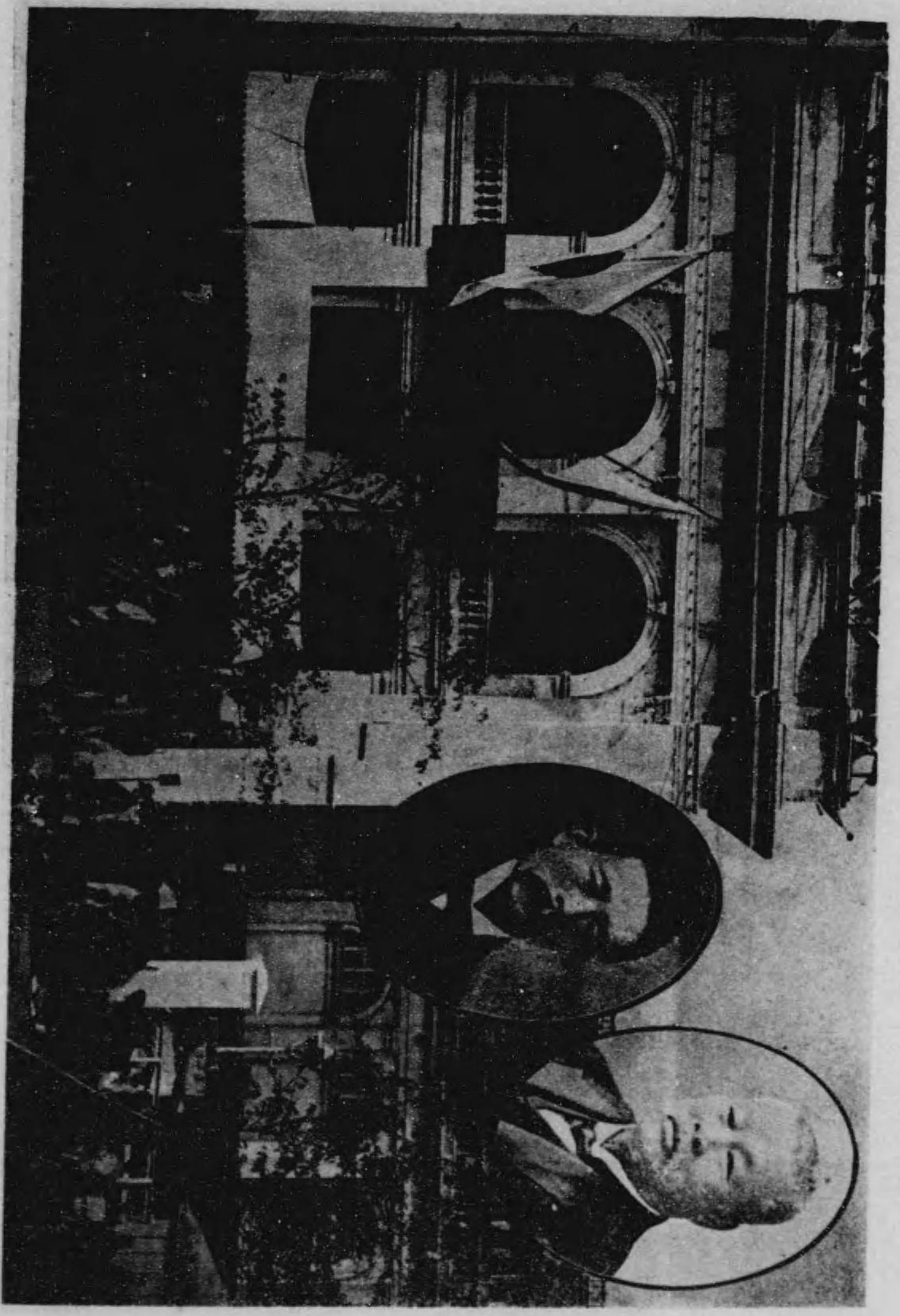


拓殖博覽會事務報告



拓殖博覽會事務報告寄贈本

拓殖博覽會正門



會長田奧

裁總山樺

拓殖博覽會正門

拓殖博覽會報告目次

第一章	總說	一
第二章	趣意書及規則	三
第一節	趣意書	三
第二節	會則	五
第三節	參考部出品規程	一九
第三章	事務組織	三
第四章	開會準備	三
第一節	會場	三
第二節	關係應協議會	三
第三節	揭示廣告	三

第四節 運賃割引……………四五

第五節 關稅ノ免除……………五七

第六節 諸人種招徠……………六三

第七節 觀光館ノ建築……………六六

第八節 庭園等ノ開放交渉……………六七

第五章 出品……………六八

第一節 殖民地ノ出品物……………六八

第二節 參考部出品物……………六九

第三節 參考部以外ノ參考品……………七〇

第四節 陳列裝飾……………七〇

第六章 審査……………七四

第一節 審査規則……………七四

第二節 審査ノ分掌……………七九

第三節 擬賞……………八一

第四節 贈賞人名……………八三

第五節 審査概評……………八六

第七章 儀式及饗宴……………九三

第一節 儀式……………九三

第一款 開會ノ當日……………九三

第二款 祝賀贈與式……………九四

第三款 閉會ノ當日……………九四

第二節 饗宴……………九七

第八章 行啓及台臨……………一〇二

第一節 皇太子殿下行啓……………一〇二

第二節 侍從御差遣……………一〇六

第三節 東宮侍從御差遣……………一〇六

第四節 臺臨……………一〇七

第五節 閉會後ノ献上品……………一〇九

第九章 觀覽……………一一三

第一節 一般觀覽……………二六二

第一款 觀覽人心得……………

第二款 觀覽券……………

第三款 觀覽券發賣數……………

第二節 特別觀覽……………二六六

第一款 優待券及特別券……………

第二款 團體ノ觀覽……………

第三款 特別割引觀覽……………

第四款 無料觀覽……………

第三節 觀光團優待……………二六九

第十章 構内ノ警戒……………二七〇

第十一章 構内敷地ノ使用……………二七三

第十二章 徽章ノ制定……………二七九

第十三章 關係各廳ノ施設……………二八〇

拓殖博覽會報告

第一章 總說

佛國ノ殖僑ボリウ氏カ國民的膨脹ノ帝國主義ガ世界ノ思想界政治界ヲ征服スヘキヲ豫見シ「最モ多クノ植民地ヲ有スル國家ハ世界ニ於ケル最モ強キ國ナリ今日然ラサルモ明日ハ必ス然ラン」ト喝破シタル以來未タ幾クモアラサルニ人口ノ繁殖ト資本ノ増加ト商工業ノ競争トノ勢ノ趨ク所國家ノ主義政策自ラ一轉シテ今ヤ多クノ植民地ヲ有スル國ニアラサレハ其富強ヲ期スル能ハサルノ實狀ヲ呈スルニ至レリ我大日本帝國モ日清、日露ノ二大戦役ヲ經テ版圖著シク擴大シ茲ニ一大殖民國ヲ形成スルヲ得タリト雖モ新領土及勢域内ニ於ケル經濟的事情ヲ詳ニセル者極メテ尠ナキヲ以テ莫大ノ國帑ヲ投シ富源ノ開發ヲ獎勵シツツアルニ拘ラス產業界ノ面目尙ホ未タ改マラス豈ニ國家ノ前途ノ爲ニ慷シテ慨セ

サルヘケンヤ茲ニ於テカ同憂ノ士相謀リ殖民地ノ生産品ヲ一堂ニ集メテ親シク國民ニ實物教育ヲ施シ大ニ殖民思想ヲ喚起シ以テ國運ノ隆興ヲ促サンコトヲ期シ拓殖博覽會開催ノ計劃ヲ樹テ東京府勸業協會ニ交渉シテ會場借入ノ契約ヲ締結シタルハ實ニ明治四十五年二月七日ニテアリキ爾來幾變遷ヲ經テ伯爵樺山資紀ヲ總裁ニ、法學博士奥田義人ヲ會長ニ推戴シ趣意書ヲ梓ニ上セテ廣ク天下ニ頒チ拓殖局ヲ始メ各關係官廳ノ贊同ヲ得テ着々準備ノ事務ヲ進メ六月ニ至リテ會則ヲ定メ關係廳主任官ノ打合會ヲ催シ協議シテ諸般ノ設備ヲ整フルコトニ決シ九月二十日ヲ期シテ開會ノ式典ヲ舉行セン豫定ヲ以テ銳意出品ノ蒐集、陳列、裝飾ノ設計ニ瘁勵シツツアリシニ端ナクモ

明治天皇大故ノ事アリ一時慳折ノ色ナキニアラサリシカ

先帝陛下ノ御偉業ヲ記念シ奉ル爲ニモ斷シテ本會ノ開催ヲ中止若クハ無期延期スヘカラストノ議期セスシテ一致シ更ニ發奮努力シテ計劃ノ完成ニ勉メ十月一日ニ及ンテ會ヲ開キ六十日間ヲ無事ニ經過シ大成功ヲ收メテ十一月二十九日會ヲ閉チタリ此間

皇太子殿下ノ行啓 皇族殿下ノ臺臨ヲ仰クノ光譽ヲ荷ヒタルノミナラス八十

餘萬ノ觀覽人ヲ吸收シ私人ノ施設トシテハ實ニ未曾有ノ盛況ヲ極メタリ思フニ此結果ハ必スヤ經濟上ノ發展ニ資スル所尠少ニアラサルヘキカ其施設ノ概要ハ章ヲ分チ節ヲ逐ヒ叙述スル所アルヘシ

第二章 趣意書及規則

第一節 趣 意 書

日清戰役ニ依リテ臺灣ヲ領有シタル我國ハ、日露戰役ニ依リテ樺太ヲ領有シ、關東州ヲ租借地トシ續テ朝鮮ヲ併合シ、明治ノ聖代ニ於テ國土著シク膨脹シ、茲ニ世界ノ一大殖民國ヲナセリ、北海道ノ如キ亦殖民的經營ヲ要スル所タラサル可ラスシテ、殖民政策ハ今ヤ我國ノ最も重要ナル問題タルニ至レリ、而シテ我國ノ殖民地經營ハ列國ノ最も注意スル所ニシテ、其經營ノ如何ハ日本人カ世界の國民トシテ將來大ニ雄飛シ得ルヤ否ヤヲ判定スヘキモノタルニ於テ、獨リ政府ニノミ依頼セス、國民一致シテ之ニ當ラサル可ラス

殖民地經營ノ方法ハ土地ニヨリテ異ナリ、一概ニ論スヘカラスト雖モ、要スルニ富源ヲ開發シテ殖産興業ヲ盛ナラシムルニアリ、殖民地ニシテ富源ナク産業起ラスンハ、本國ニ何等利益スル所ナク却テ累ヲ及ホスニ過キサレモ、殖民地ニシテ繁榮センカ、本國ノ資力勞力ヲ同方面ニ傾注スルヲ得テ國民の活力ヲ旺盛ナラシムルヲ得ヘシ、世界ニ於テ優勝ノ位地ニ立チ國運隆昌ヲ極ムルモノ、皆大ニシテ且ツ富メル殖民地ヲ有スルモノニアラサルナシ、故ニ殖民地ノ經營ハ殖産興業ノ獎勵ヲ主トセサル可ラスシテ、殖産興業獎勵ノ上ニ於テ、本國人ノ殖民的進取思想ヲ喚起スル事最モ必要ナリトス

然ルニ邦人ノ殖民思想兎角幼稚ニシテ、臺灣トイヘハ瘴煙蠻雨ノ酷熱地ヲ想像シテ、產業界ノ面目如何ニ改マレルカヲ知ラス、又樺太トイヘハ雪山氷河ノ嚴寒地ヲ想像シテ、拾ハレサル遺利ノ如何ニ大ナルカヲ知ラス、朝鮮關東州ニ對スル亦斯クノ如クニシテ、北海道ノ事情スラモ普ク世ノ知ル所トナラス、之レ殖民地ノ經驗ニ乏シキノ致ス所ニシテ、膨脹的國運ニ對應スル所以ニアラス吾々同志之ヲ遺憾トシ、臺灣朝鮮樺太北海道ノ製産品ヲ内地ニ紹介シ、殖産興業ノ獎勵ニ資スルト同時ニ、殖民的進取思想ヲ喚起スルノ目的ヲ以テ、本年

秋期東京ニ於テ拓殖博覽會ヲ開設セントス、惟フニ博覽會ノ開設セラレタルモノ、上ハ官設博覽會ヨリ下ハ各種ノ私設博覽會ニ至ルマテ、其多キ事數フルニ暇アラスト雖モ、殖民地製産品及之ニ關係アル參考品ヲ蒐集陳列スル拓殖博覽會ノ開設ハ、未タ會テ有ラサル所、幸ヒニ大方ノ贊同ヲ得テ殖民地ノ開發ニ資シ、國勢ノ進運ヲ記念スルノ一助トナラハ、之レ唯リ吾々ノ幸福ノミニアラサルナリ

第二節 會 則

本會規則制定ノ當初ニ於テハ第二條ノ開期ヲ『明治四十五年九月二十日ヨリ十一月十八日迄』ト定メタリシモ、明治天皇崩御ノ事アリシ爲メ八月十日之ヲ『大正元年十月一日ヨリ十一月二十九日迄』ト改訂シタル外必要ニ應ジ改正増補シタル條章少カラス然レトモ新舊兩則ヲ並記センハ徒ニ煩勞ヲ増スノミニテ何等讀者ニ利益スル所ナキヲ以テ今ハ只タ改正規則ヲ掲クルノミニ止メン

拓殖博覽會規則

第一章 總 則

第一條 本會ハ朝鮮、臺灣、關東州、樺太及北海道ニ於ケル製產品其他拓殖ノ
狀勢ヲ普ク内地ニ紹介シ殖産興業ノ獎勵ニ資スルト同時ニ殖民的進取思想ヲ
喚起シ國勢ノ進運ヲ記念スルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ大正元年十月一日ヨリ十一月二十九日迄東京市上野公園不忍池
畔ニ開設ス(八月十日改正)

第三條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 總 裁
- 會 長
- 幹 事
- 審 查 總 長(九月廿日改正)
- 審 查 部 長(十月廿九日改正)

審 查 員

第四條 總裁ハ會務ヲ總判ス

第五條 會長ハ會務ヲ統理ス

第六條 幹事ハ事務ヲ掌理ス

第七條 審査總長ハ審査事務ヲ總理ス(九月廿日改正)

第八條 審査部長ハ主管ノ部務ヲ掌理ス(十月廿九日改正)

第九條 審査員ハ審査總長並審査部長ノ指揮ヲ受ケ出品ノ審査及之ニ關スル、
事務ヲ處理ス(同上)

第十條 本會ハ評議員ヲ置キ總裁之ヲ囑託ス

第十一條 出品物ノ陳列場及現在備付アル飾箱ニ對シテハ使用料ヲ徵料セス、
但參考部ノ陳列場ハ此限リニアラス

第十二條 會場、出品物ニ對シテハ守衛、看守人ヲ置キ相當ノ保護ヲ爲スト雖
モ天災、火災盜難等避ク可ラサル事故ニ依ル出品物ノ毀損紛失等ノ損害ハ本
會其責ニ任セス

第十三條 本會事務所ニ於テ陳列品ヲ撮影模寫シ又ハ之ヲ印行發賣スルコトア

ルヘシ
 第十四條 構内ニ於テ建設物出品物其他ヲ撮影又ハ模寫セント欲スル者ハ本會事務所ノ承諾ヲ受クヘシ、但出品物ニ付テハ尙各府廳、委員又ハ出品人ノ承諾ヲ得ルコトヲ要ス

第二章 出 品

第十五條 出品ハ各府、廳所管區内ノ製產品其他拓殖ノ狀勢ヲ示スニ足ルヘキモノトス

第十六條 出品ハ左ノ六部ニ大別ス

- 第一部 朝鮮部
- 第二部 臺灣部
- 第三部 關東州部
- 第四部 樺太部
- 第五部 北海道部
- 第六部 參考部

(殖民地ニ關係アル内外製產品其他特ニ本會ニ於テ選定セルモノ)

第十七條 出品人ハ出品物ノ品名、數量、原價、賣價ヲ詳記シタル出品目錄及解説書各一通ヲ九月十五日迄ニ廻付スヘシ

第十八條 出品物ノ輸送、陳列、裝飾及据付運轉等ハ出品人其ノ負擔ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第十九條 出品人ニシテ出品物ト同種ノ物品ヲ即賣セントスルトキハ參考部ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第二十條 參考部陳列所ノ出品物ハ出品人ニ於テ即賣スルコトヲ得

第二十一條 參考部以外ノ出品物ハ賣買約定ヲ爲スコトヲ得但出品物ニシテ關稅ノ免除ヲ得タルモノ、内國稅ノ賦課ヲ受ケサルモノ又ハ政府ノ專賣ニ係ルモノハ此限ニアラス(七月十九日改正)

第二十二條 前條賣買約定ハ出品目錄所載ノ賣價ニ依リ各部其責任ヲ以テ之ヲ取扱フ(十月十五日改正)

第二十三條 賣買約定ヲ爲シタル現品ハ閉會後五日間内ニ殘金ト引換ニ引渡ヲ爲スヘシ若シ引渡期間内ニ殘金ノ拂込ヲ爲サ、ルモノハ破約ト看做シ既納ノ

約定金ハ還付セス

第二十四條 出品物ノ賣却代金ハ閉場後精算ノ上出品人ノ費用ヲ以テ送付ス

第二十五條 出品物ノ搬入ハ九月十五日ヨリ同月二十五日迄トシ搬出ハ十一月三十日ヨリ十二月十日迄トス

第二十六條 出品人ハ開會中ニ於テ其陳列場ヲ閉鎖シ又ハ出品物ヲ撤去スルコトヲ得ス

第二十七條 出品人ノ使用スル被傭人ノ行爲ニ付テハ出品人其ノ責ニ任スヘシ前項ノ被傭人ニシテ不都合ノ行爲アリト認ムルトキハ本會事務所ハ其ノ入場ヲ差止ムルコトアルヘシ

第三章 入場觀覽

第二十八條 觀覽ノ時間ハ毎日午前八時ヨリ午後五時迄トス、但時宜ニ依リ時間ノ伸縮若クハ觀覽ヲ停止スルコトアルヘシ

第二十九條 觀覽券ハ平日ハ一枚金拾錢、日曜日、大祭日ハ其倍額、五歳以上十二錢未滿ノモノハ各其半額トシ五歳未滿ノモノハ無料トス(十月十日改正)

第二十條 觀覽人ハ畜類ヲ牽キ又ハ荷物ヲ携帯シテ入場スルコトヲ得ス、但小形手提類ハ此限ニ非ス

第三十一條 觀覽人ハ看守人ノ承諾ヲ得スシテ陳列品ニ觸ルルコトヲ得ス

第三十二條 醉狂者、瘋癲、惡疾若クハ汚穢ノ感ヲ生セント認ムル者及前條ニ違背スル者ハ入場ヲ謝絶シ又ハ退場セシムヘシ

第四章 審査、褒賞

第三十三條 出品物ハ之ヲ審査ス、但審査ヲ請求セサル出品物ハ此限ニアラス

第三十四條 審査ノ結果優等ト認ムル出品ニ對シテハ褒賞ヲ授與ス同一出品人ニシテ數個ノ褒賞ヲ受クヘキトキハ賞狀ハ各個ニ授與シ賞牌ハ其ノ最優等ノモノ一個ヲ授與ス

第三十五條 詐欺又ハ錯誤ニ依リ褒賞ヲ受ケタル者アルトキハ其ノ褒賞ヲ取消シ且之ヲ返還セシムヘシ

第三十六條 褒賞ハ左ノ五種トス(十月廿九日改正)

一、名譽金牌

會則

二、金牌

三、銀牌

四、銀牌

五、褒狀

第三十七條 參考品ニシテ優等ト認ルモノニハ記念賞牌ヲ贈與ス
 第三十八條 審査ニ對シテ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス
 第三十九條 褒賞授與式ハ會期中之ヲ行ヒ其期日ハ追テ發表ス
 第一號書式

出品目錄

番號	品名	數量	產地	原價	賣價	住所職業	
						出品人氏名	

右之通

備考

一 番號ハ出品人一名毎ニ之ヲ付スヘシ
 一 品名ハ出品ノ本名ヲ記シ方言譯名等アルモノハ之ヲ附記スヘシ
 一 數量ハ出品ニ對スル慣用ノ稱ヲ以テ之ヲ記スヘシ
 一 非賣品ハ賣價ノ欄内ニ非賣品ト記シ尙ホ賣價ヲ朱書スヘシ
 第二號書式(審査請求ノ者ノミ提出ヲ要ス)
 其一 農產物解説書

解説書

番號	品名	出品人	住所	職業	氏名

產地、土質及段別

產地名土地ノ肥瘠、乾濕、土質栽培採取ノ段別ヲ記スヘシ

會則

種植及採取

播種、移植、挿接、收穫、伐採等ノ方法、順序、季節等ヲ記スヘシ
培養及保護

肥料ノ種類、施肥及除害ノ方法其他養護ノ方法ヲ記スヘシ
效用

出品ノ主用及應用ヲ記スヘシ
産出額

出品ト同一種物品ヲ産出シタル年々ノ總額ヲ記スヘシ
褒賞

從來褒賞ヲ受タル年月、其ノ種類及其博覽會若クハ共進會名ヲ記スヘシ
審査請求ノ主眼

産額ヲ増加シ産出費ヲ減シ販路ヲ擴張シ又ハ何々ノ用途ニ適合セシメタル等總テ審査ヲ要スル主眼ノ事項ヲ記スヘシ

其二 製造品解説書

解説書

番 號	品 名	出 品 人	住 所	職 業	氏 名

製造地

製造地名ヲ記シ特ニ製造場ヲ有スル時ハ其建坪構造等ヲ付記スヘシ

原料

製造ニ要スル原料ノ産地及品種ヲ記スヘシ

製造用品

機械器具其他製造ニ要スル用品ヲ記スヘシ

製造方法

製造ノ順序方法ヲ記シ尙自己ノ實驗、考按、傳習等ニ依ルモノハ其旨ヲ記
スヘシ

沿革

創業ノ年月日及其後ニ於ケル事業ノ經過ヲ記スヘシ但別ニ沿革史ヲ添付スルモ妨ケナシ

製造品ノ數量、價格及其販路

出品物ト同一種ノ物品ヲ製造シタル年々ノ數量價格及其販路ヲ記シ外國貿易品ニアリテハ其輸出先輸出額ヲ付記スヘシ

效用、褒賞及審査請求主眼

記載事項ハ前書式ヲ準用スヘシ

其三 鑛物及土石類解説書

解説書

番 號	品 名	出 品 人	住 所	職 業	氏 名
-----	-----	-------	-----	-----	-----

產地及發見

產地名及鑛物發見ノ顛末ヲ記スヘシ

地質鑛脈及鑛石

地質、鑛脈ノ性質(鑛脈)走向、傾斜、主鑛、母岩、副鑛及鑛區ノ面積ヲ記シ非金屬、土石類ハ顯在ノ狀態、就中石灰、硫黃ノ現存料ノ概測又ハ實測額ヲ記スヘシ

採掘法

開鑿ノ方法、坑内外ノ裝置、坑夫ノ員數及使用機械等ヲ記スヘシ

製煉法

乾式或ハ濕式其方法、順序、裝置、工夫ノ員數、使用機械等ヲ記スヘシ

運搬法

山元ヨリ市場其他へ運搬スル方法ヲ記スヘシ

效用、沿革、產出額、販路、褒賞及審査請求主眼

記載事項ハ前書式ヲ準用スヘシ

其四 美術及美術工藝品解説書

解説書

番 號	品 名	出 品 人	住 所	職 業	氏 名
-----	-----	-------	-----	-----	-----

材料及製作法

製造ニ要スル材料ノ品種及製作ノ順序方法ヲ記スヘシ
命題ノ説明

傳記、考證其他命題ノ由來ヲ記スヘシ
履歷

流派、師傅其他修業ノ履歷ヲ記スヘシ
褒賞ニ關スル事項ハ第二號書式其一ヲ準用スヘシ
前各項ノ外美術工藝品ニ在リテハ第二號書式其一及其二ヲ準用シテ製造地
效用製造用品及審査請求主眼ニ關スル事項ヲ記スヘシ

解説書作製備考

- 一、解説書式中別ニ例文ノ定メナキモノ又ハ出品ノ種類性質ニ依リ書式ニ適合セル解説書ヲ調成スル能ハサル物ニ在リテハ前記書式ヲ參酌シテ便宜之ヲ調成スヘシ
- 二、解説書中公衆ニ示スコトヲ欲セサル事項ハ之ヲ朱書スヘシ
- 三、出品ノ採取、産出又ハ製造ニ參與シタル者アル時ハ解説書ノ末尾ニ協賛員ノ一項ヲ設ケテ其住所職業氏名及履歷並ニ參與ノ事實ヲ記スヘシ

第三節 參考部出品規程

會則第十六條ニ規定シタル參考部ノ出品ニ對シ特別ノ規程ヲ設ケ八月三日之ヲ公表シ出品ノ勧誘ニ着手シタリ其規程ハ即チ左ノ如シ

拓殖博覽會參考部出品規程

- 第一條 拓殖博覽會參考部出品ハ朝鮮、臺灣、關東州、樺太及北海道ニ關係アル内外製産品其他特ニ本會ニ於テ選定セルモノトス
- 第二條 出品陳列場所ニ對シテハ會期中一小間(間口六尺奥行二尺乃至三尺)ニ

付金拾五圓乃至金七拾五圓ノ場所代ヲ徵收ス但其徵收額ハ場所ニ應シ本會之ヲ定ム

第三條 出品セントスル者ハ明治四十五年八月拾五日迄ニ別記様式ニ從ヒ出品申込書ヲ本會事務所ニ差出シ承諾ヲ受クヘシ但本會事務所ハ陳列場ノ都合ニ依リ申込小間數ノ減少ヲ求ムルコトアルヘシ

第四條 出品申込者ニ於テ前條承諾ヲ得タルトキハ指定ノ期日以内ニ本會事務所ヘ所定ノ小間料ヲ拂込ム、シ

第五條 出品ノ輸送、陳列裝飾、保管及賣約等ハ總テ出品者ノ責任トス但本會事務所ハ出品人ノ委託ニ依リ之ヲ代辨スルコトアルヘシ

第六條 陳列場ニ使用ノ飾箱及裝飾等ノ設計ニ付テハ豫メ本會事務所ニ仕様書又ハ圖面ヲ提出シ其承認ヲ受クヘシ但提出ノ仕様書ハ之ヲ返付セス

第七條 受託品 賣約ニ關シテハ本會規則第二十條乃至二十五條ノ規定ニ準據ス

第八條 出品者ハ陳列場内ニ於テ出品ト同種ノ物品ヲ即賣スルコトヲ得但即賣品ヲ購買者ニ交附ノ際ハ別ニ定メタル様式ニ從ヒ一定ノ包紙ヲ用フヘシ

第九條 前各條ニ定メタル事項ノ外本會規則ヲ適用ス

(様式)

拓殖博覽會參考部出品申込書

出品人 住 氏 所

屋號又ハ商號

所要小間數 小間

番 號	品 名	物 質	數 量	賣 價
合 計				

右拓殖博覽會規則及參考部出品規程ヲ遵守シ出品可致候也

年 月 日

右 氏

名 印

參考部出品規程

二一

拓殖博覽會事務所御中

第三章 事務組織

所謂創立時代ハ中央新聞社代理局内ニ假事務所ヲ設置シテ創立ニ關スル事務ヲ處理シタリシカ開會準備ノ時代ニ入りタル明治四十五年六月一日ヨリ之ヲ衆議院議員俱樂部内ニ移轉シ漸次事務員ヲ採用シ大正元年九月五日ニ至リ上野ノ池ノ端ナル會場内ニ本事務所ヲ開設シ更ニ事務員ヲ増加シテ各般ノ會務ヲ處理セシメタルモ守衛服務規程ヲ制定シタル外處務ニ關スル規程ヲ設ケス各自ノ德義心ト自由手腕トニ一任シタリ役員及事務員ノ氏名ハ左ノ如シ

(役員)

- | | |
|-----------|-----------|
| 總裁 | 伯爵 樺山資紀 |
| 會長 | 法學博士 奧田義人 |
| 幹事 (イロハ順) | 井上角五郎 |
| | 早川鐵冶 |

- | | |
|-------|-------|
| 奧 繁三郎 | 吉植庄一郎 |
| 鶴原定吉 | 野田卯太郎 |
| 山本悌二郎 | |

監督 (イロハ順)

- | | |
|-------|------|
| 川地喜三郎 | 筒井喜平 |
|-------|------|

- | | |
|------|---------|
| 審査總長 | 男爵 九鬼隆一 |
|------|---------|

審査部長 (イロハ順)

- | | |
|-----------|------------|
| 細井岩彌 | 工學博士 高山甚太郎 |
| 林學博士 村田重治 | 農學博士 古在由直 |
| 下 啓助 | |

審査員 (イロハ順)

以谷 伊知二郎
岡田 鴻三郎
織田 利三郎
小川 運平
河合 鉢太郎
高橋 孝治
辻本 満丸
中牟田 五郎
野田 忠藏
山中 源太郎
松倉 順一

西尾 銈次郎
大日 方順三
大島 金太郎
梶川 温
金平 亮三
立川 連
辻 暢太郎
中村 隆
山下 協人
前田 健次郎
藤井 祐敬

朝鮮總督府

評議員 (次第不同)

小島 孝造
佐藤 振次郎
佐伯 勝太郎
向阪 幾三郎
宮地 鐵治
志和 地榮介
平山 英三
審查補助

小林 房次郎
佐藤 壽衛
齋藤 親廣
湯淺 圭造
白澤 保美
平野 耕輔
鈴木 重助

石塚 英藏

荒井 賢太郎

宇佐 美勝夫

中村 彦

本多 幸介

菊地 武一

農商務省	宮内省	内閣	拓殖局	北海道廳	樺太廳	關東都督府	臺灣總督府	帆足準三
道	押川則吉	河村金五郎	宮尾舜治	橋本正治	石原健三	白仁武	中川友次郎	内田嘉吉

伯爵

上山滿之進	下岡忠治	股野琢	江木翼	黑金泰義	山田樸一	中川小十郎	大内丑之助	高木友枝	高田元治郎	兒玉秀雄
-------	------	-----	-----	------	------	-------	-------	------	-------	------

鐵道院	遞信省	佐藤昌介	手島精一	田所美治	文部省	内務省	櫻井鐵太郎	橋本圭三郎	岡倉知鐵吉	大久保利武
平井晴二郎	小松謙次郎	福原鏡二郎	床次竹二郎	櫻井鐵太郎	櫻井鐵太郎	櫻井鐵太郎	櫻井鐵太郎	櫻井鐵太郎	櫻井鐵太郎	櫻井鐵太郎

湯川元臣	山之内一次	古在由直	眞野文二	松浦鎮次郎	菅原通敬	濱口雄幸	坂田重次郎	高山甚太郎	磯部正春
------	-------	------	------	-------	------	------	-------	-------	------

事務組織

木下淑夫
 警視廳安樂兼道
 東京府阿部浩
 東京市男爵坂谷芳郎
 南滿州鐵道株式會社
 中村是公
 清野長太郎
 東洋拓殖株式會社
 宇佐川一正
 帝國大學 坪井正五郎
 井上敏夫
 今村繁三

松木幹一郎
 國澤新兵衛
 吉原三郎
 伊藤大八
 池田謙三

事務組織

井上準之助
 岩原謙三
 原田虎太郎
 原田金之助
 星野錫
 戶水寬人
 長晴登
 大岡育造
 大濱忠三郎
 大倉久米馬
 大橋新太郎
 若尾幾造

市原盛宏
 飯田敬一
 林民雄
 西谷金藏
 堀川良平
 豐川良平
 岡崎邦輔
 大倉喜八郎
 大谷嘉兵衛
 小野金六
 小川鏞吉
 改野耕造

事務組織

柿沼谷藏
門野重九郎
加藤正義
横山虎一郎
吉田三郎右衛門
高田慎藏
團琢磨
高島小金治
園田實德
根津嘉一郎
長島鷺太郎
中島久萬吉

男爵

賀田金三郎
樺山愛輔
川地喜三郎
米田穰
田邊熊一
竹内綱
田中平八
武井守正
筒井喜平
永江純一
中野武營
中橋德五郎

三〇

事務組織

男爵
南部球吉
村井吉兵衛
植村澄三郎
安田善三郎
柳生一義
馬越恭平
增田增藏
藤田平太郎
藤山雷太
近藤陸三郎
秋岡義一
淺野總一郎

男爵

村野常右衛門
室田義文
山本條太郎
安田善次郎
松方幸次郎
益田孝
古河虎之助
藤田四郎
藤井裕敬
近藤廉平
荒井泰治
佐々木勇之助

三一

事務組織

子爵 佐竹作太郎
男爵 三島彌太郎
澁澤榮一

平山成信
志村源太郎
平沼專藏
杉原榮三郎
村田保
原亮三郎
原六郎
利光鶴松
渡邊嘉一

三三

美濃部俊吉
宮崎豐次
莊清次郎

望月右内
日比谷平左衛門
末延道成
田中芳男
正木直彦
濱口吉兵衛
早川千吉郎
小野光景
川崎金三郎

男爵

吉田幸作
米山梅吉
田中長兵衛
添田壽一
森久保作藏
杉田定一
菅原傳
尾崎行雄
岩崎小彌太
井上敬次郎
服部金太郎
和田維四郎

事務組織

米井源治郎
田中銀之助
園田孝吉
佃一豫
茂木保平
須田利信
鈴木岩造
池田成彬
伊藤幹一
阪東勘五郎
波多野承五郎
下啓助

三三

花房直三郎
 田川大吉郎
 渡邊勘十郎
 西澤善七
 横田清兵衛
 辰澤延次郎
 肥塚龍
 吉村銀次郎
 安藤兼吉
 内田彦雄
 郷誠之助
 阿部泰藏

原田十衛
 宮川鐵次郎
 江間俊一
 溝淵正氣
 丸山名政
 黑須龍太郎
 中島行孝
 伊藤定七
 堀田生次郎
 酒井泰
 江藤哲藏
 朝吹英二

男爵

男爵

柳田清兵衛
 翠川鐵三
 三井元之助
 村井貞之助
 松方巖
 相澤喜兵衛
 大木金兵衛
 中島守利
 曲木如長
 德岡梅吉
 稻茂登三郎
 大木宗保

木村利右衛門
 三井八郎次郎
 中山佐市
 山中隣之助
 福原有信
 秋本喜七
 瀨沼伊兵衛
 鈴木宗兵衛
 關戶金三郎
 小林棋次郎
 山田敬正

(二) 事務員 (採用順)

中尾嘉平	藤田劍吾
吉田國幹(辭)	堤熊太郎
片平茂市郎	平田左久良
富井政廣	道家易麿
津島勸兵衛	白井憲隆
内藤政宗	土屋泰治
家村盛吉	森口久之
矢澤勝次	

第四章 開會準備

第一節 會場

本會創立ノ當初會場ヲ上野公園内ト定メ明治四十五年二月四日東京府勸業協會ニ交渉シ同月七日其建築物千五百十二坪ヲ賃貸スルノ契約ヲ訂シ其期間ヲ九月二十日ヨリ十二月二十日迄九十日間ト協定シタリシモ同月廿四日ニ至リ更ニ九月一日ヨリ使用スルコトニ改訂シ各般ノ設計ニ着手シ更ニ帝室博物館ヨリ會場南北兩部ノ空地ヲ借用シ南部ノ空地ニハ木柵ヲ設ケ門柱ヲ建テ、外觀ヲ整ヘ北部ノ空地ヲ土人家屋及觀光館、休憩所等ノ建築用地ニ借用シタリ

第二節 關係廳協議會

拓殖博覽會ノ計劃既ニ熟シ關係各官廳ノ賛同ヲ得タルヲ以テ六月二十五日拓殖局ニ於テ第一回協議會ヲ開キ本會ノ施設ト各廳ノ施設トノ範圍其他數項ニ關スル打合ヲ爲シ更ニ同月二十八日第二回ノ會議ヲ催シ陳列場地積ノ割當等總テ圓滿ナル協定ヲ遂ケテ散會セリ該會議ニ參與シタルハ拓殖局第二部長江木翼、文書課長中川健藏、臺灣總督府殖産局長高田元次郎、同囑託竹澤太一、關東都督府事務官大内丑之助、樺太廳庶務課長福永尊介、北海道廳勸業部長橋本正治、拓殖博覽會幹事鶴原定吉、監督筒井喜平、事務員中尾嘉平、藤田創吾ニシテ其

協定セラレタル事項及注意事項ハ左ノ如シ

△協定事項

- 一、會ハ陳列館及備付ノ陳列戸棚ヲ無代提供シ館外及館内出入口ノ裝飾通常必要ノ電燈及守衛ノ施設ヲ爲ス
- 二、出品物ハ會場カ陳列ニ適スル迄各廳ノ責任ニ於テ運送會社ノ倉庫又ハ適當ナル場所ニ保管ス出品整理ノ爲館前ノ空地ヲ使用スル必要アルトキハ會ハ無代使用ノ交渉ニ任ス
- 三、各廳ニ割當ラレタル陳列場所ハ各廳其ノ負擔ニ於テ任意ニ裝飾シ任意ニ陳列ス
- 四、各廳毎ニ陳列場ヲ區別スル爲メ各廳ハ其負擔ニ於テ其陳列場ノ入口ニ當ル部面ヲ區劃ス
- 五、陳列場内ノ通路ハ各廳ノ自由ニ配置スヘシト雖モ道幅ヲ一間以下ニ下スヨト能ハス且隣接陳列場ト聯絡ヲ保ツ爲出入口ノ道幅ハ之ヲ二間トス
- 六、四方面飾戸棚ハ陳列場ノ坪數ニ按分シ各廳間ニ分配ス

- 七、現在ノ飾戸棚ニシテ所有主ノ關係等ニ依リ取替ヲ要スルモノアルトキハ會ノ負擔ニ於テ之ヲ爲ス
- 八、各廳陳列場ニ飾戸棚ノ分配据付ヲ爲スニ要スル費用ハ各廳其使用棚ノ小間數ニ按分シテ負擔ス但參考部ニ屬スルモノ及不用棚ノ片付費ハ會ノ負擔トス
- 九、飾戸棚ノ加工及破損ハ各使用廳ノ負擔ニ於テ復舊ス
- 十、館外ニ於テ附屬的ニ使用スル土地建物ノ借入ハ各廳ノ求ニ依リ會ニ於テ交渉ス但借賃ハ使用廳ノ負擔トス
- 十一、陳列館内ニ於テ各廳ノ使用スヘキ地積左ノ如シ

朝鮮	二百八十八坪	臺灣	三百八十四坪
樺太	八十四坪	關東州	二百十六坪
北海道	百四十四坪		
- 十二、會ト出品人間ノ交渉ハ必ス各廳主任者ノ手ヲ經ヘシ

△注意事項

(一) 出品目錄ノ作成

- 一、出品目錄書式ニ示ス處ノ出品番號ハ極メテ正確ノモノナラサレハ通關、荷解キ、陳列、返送等ニ種々ノ關係アルモノナルノミナラス開會中説明等ニ支障ヲ生シ易シ
- 一、出品者ニシテ各土着人ノ氏名ニハ片假名ノ傍訓ヲ要ス
- 一、原價ハ地元山元ノ製造元値ヲ記入セラレタシ假令賣品ニアラサル模型等ニ至ルマテ通關手續ヲ要スル向ハ殊ニ必要ナリ
- 一、賣價ハ原價ニ關稅、仲買手数料其他種々ノ入費ヲ加算シタルモノタルヘシ
- 一、出品目錄ハ強テ一名宛ノ別目錄トセス甲乙出品者ノ品物ノ錯雜ヲ來ササル限リハ一紙ニ連記セララル、モ可ナリ

(二) 出品物ノ積出

- 一、出品其物ニハ出品者ノ氏名ト出品目錄ノ品番號トハ一品毎ニ符牒紙様ノ

モノニテ剝落セサル様丁寧ニ貼付セララル、コト肝要ナリ若シ其品組ミ物ナルカ又ハ臺、容器其他ノ付屬品アルモノハ何號何個組ノ内トカ或ハ何號附屬何個ノ内トカ一々貼付セラレタキコト

- 一、出品物荷造リノ際入記目錄一通荷物中ニ封入セララル、ヲ要ス
- 通關手續ヲ要スル向ハ前項ノ入記目錄作製ノ時ハ都合五通同一ノモノヲ造ラレタシ其五通ノ用途ハ左ノ通り

- 荷物中ニ造リ込ムモノ 一通
- 稅關ニ提出スルモノ 一通
- 積出ノ際荷扱人ニ交付セララル、モノ 一通
- 發送ト同時ニ荷受人ニ送付セララル、モノ 一通
- 本廳ニ保存セララル、モノ 一通

又臺灣北海道樺太等ハ稅關ノ關係ナキヲ以テ三通ニテ可ナリ

- 一、入記目錄ハ一定ノ様式ナケレトモ荷物ノ記號(假令ハ㊦ノ如キ)品番號、數量、原價、出品者氏名ハ素ヨリ品種ニ依リテ正味風袋各別ノ斤量ヲ要シ品質モ亦必要ナルモノアルヘシ

(三) 出品物ノ付札

一、出品物ノ付札ハ全館(參考部ハ除ク)粗一定ノモノニシタシ之レカ形チハ出品其物ノ形體ニ依リ勿論大中小三種位ノモノヲ要スヘシ大體ハ左ノ雛形ノ形式ニ依リ所要員數ヲ當方ニテ取纏メ便宜印刷セラル、方費用ノ點ニ於テモ得策ナランカ

出品人	品名	賣價金	備考

(四) 圖書室特設ニ付希望

一、各廳ニ於テ印刷セラレタル統計、調査書、其他ノ圖書ハ各部夫々陳列セラルヘキモノアルヘキモ之ヲ各所ニ就テ佇立一覽スルハ甚困難ニシテ觀覽者ノ毎時遺憾トスル所ナレハ本會ハ之等ヲ一ヶ所ニ集メ机榻ヲ備ヘ雜踏ヲ避ケ充分ニ觀覽セシメ度希望ヲ有スルニ依リ出版ノ新舊ニ依ラス一部宛特ニ本會ニ寄贈セラレンコトヲ希フ若シ拂底ノ品アレハ會期中借用シ得ラルルニ於テハ閉會後ニ於テ返付スヘシ

第三節 揭示廣告

拓殖博覽會ハ雷ニ空前ノ企劃タルノミナラス殖民的進取思想ヲ喚起シ所期ノ目的ヲ達センニハ最モ廣ク最モ多クノ觀覽者ヲ誘致スルノ必要アルヲ以テ特ニ廣告ノ意匠及圖案ニ重キヲ置キ理學博士坪井正五郎ノ考案ヲ基礎トシ先ツ吊下檢札ノ圖案ヲ岡田三郎助ニ託シ五萬枚ヲ印刷ニ付シテ鐵道院、千葉縣鐵道課、

揭示廣告

札 繪 下 吊

朝鮮 臺灣 關東州 樺太 北海道

明治 年間 國運 發展 記念

拓殖博覽會

十月二日ヨリ十二月廿九日まで

東京上野公園ニテ

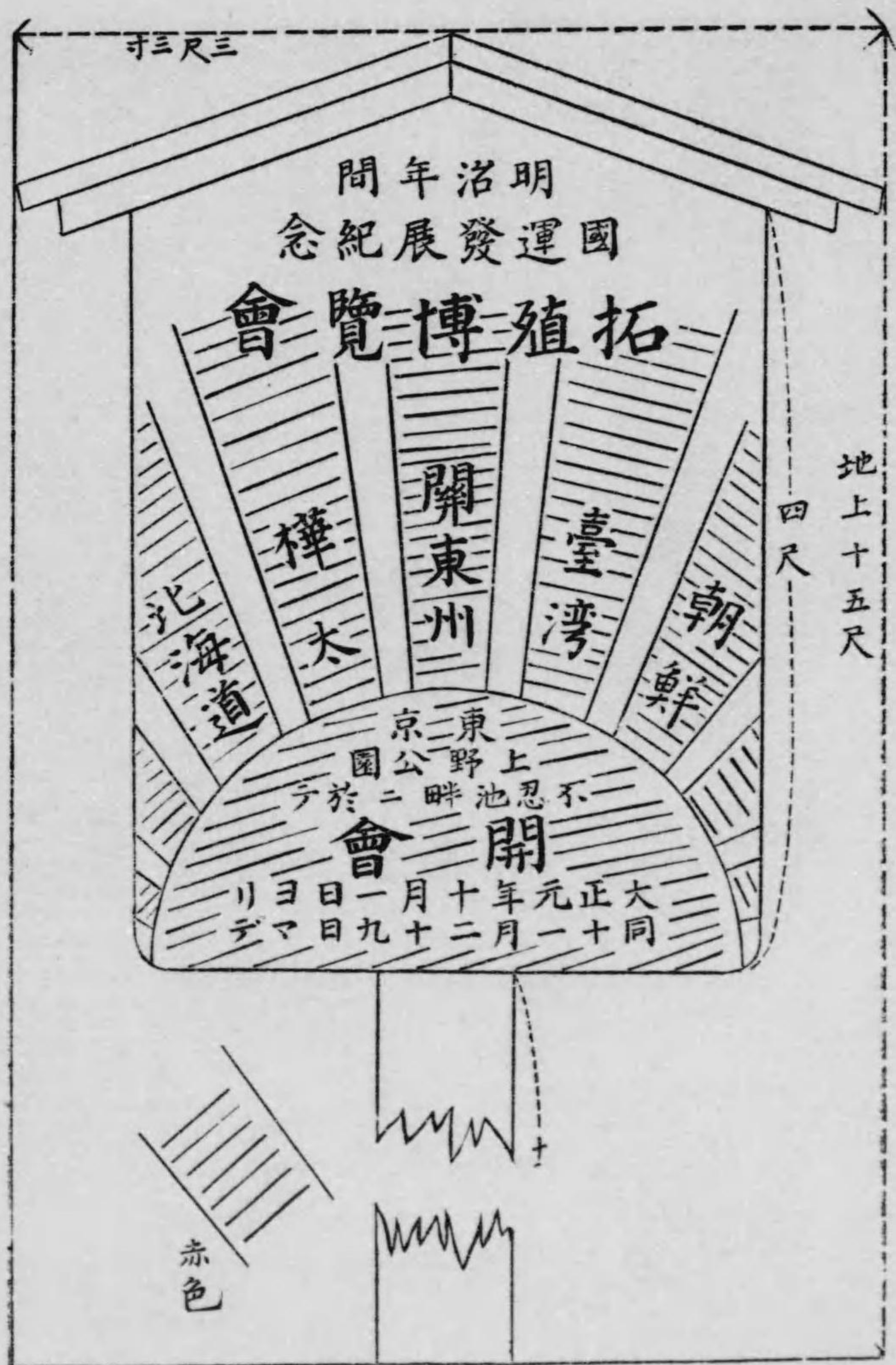
揭示廣告

四四

東武鐵道株式會社、大日本軌道株式會社、川越鐵道株式會社、東京灣汽船株式會社、內國通運株式會社、成田鐵道株式會社、青梅鐵道株式會社、駿豆鐵道株式會社、上野鐵道株式會社ニ託シテ全國各驛ニ掲出シ更ニ東京、橫濱兩市ノ湯屋、理髮店、飲食店等ノ店頭ニ貼布シ鐵道院、帝室博物館、市役所、警察署ノ允許ヲ經テ市内ハ勿論全國ノ要地ニ廣告札ヲ建設シ專ラ社會公衆ニ周知セシムルノ方法ヲ採リタリト雖モ尙ホ足ラサル所アルヲ慮リ各府縣知事ニ趣意書及規則書ヲ送リテ管下ニ移牒ヲ請ヒ「趣味アリ實益アル拓殖博覽會」ト題スル冊子ヲ印行シテ一府十六縣ノ各種學校、農會、在郷軍人會、赤十字社分區、青年會、愛國婦人會支部等ニ贈呈シテ來觀ヲ勸誘シ一面ニ於テハ「新シキ日本拓殖地ノ縮圖」ト題スル廣告紙一百萬枚ヲ東京市内ニ配布シ本會ノ内容ヲ天下ニ紹介スルニ勉メタリ別葉ニ掲クル所ノモノハ即チ吊下繪札及廣告建札ノ圖樣ナリ

第四節 運賃割引

運賃ヲ成ルヘク低廉ニシ出品人及觀覽人ノ負擔ヲ經減センカ爲メ鐵道院及日



本郵船、大阪商船兩株式會社ニ對シ運賃ノ割引ヲ交渉シタルニ鐵道院ハ出品貨物二割、出品人二割、觀覽人五割ヲ、日本郵船、大阪商船兩株式會社ハ貨物運賃二割、乘船運賃二割ノ割引ヲ承認シタルヲ以テ七月廿四日左記運賃割引證交付並使用手續ヲ定メ割引證票ト共ニ之ヲ關係各應ニ送付シタリ然ルニ御大喪ノ爲メ會期ヲ變更シタル自然ノ結果トシテ割引期間ノ延長ヲ當局ニ交渉シ直ニ其承諾ヲ得テ最終ノ割引期日ヲ大正二年一月四日ト改正シタリ

拓殖博覽會出品及出品人、團體觀覽人
運賃割引證交付并使用手續

- 一、拓殖博覽會出品物其他ノ貨物ニシテ運賃ノ割引アルモノ左ノ如シ
 - (イ)官廳出品物
 - (ロ)個人、會社等ノ出品物
 - (ハ)陳列、裝飾、建築用ノ材料及其他出品ノ設備ニ要スル物品
 - (ニ)會場ニ於テ配布スル見本品

運賃割引

二、關係者ニシテ運賃ノ割引アルモノ左ノ如シ

(イ)出品人、代理人及其通譯

(ロ)二十人以上ノ團體觀覽人

三、汽車賃割引區間左ノ如シ

A 物

(イ)關東州、朝鮮又ハ臺灣發着ノモノ

釜山(關釜間ハ普通賃金ニ依リ關東州又ハ朝鮮發着ノモノニ限リ取扱フ)

長崎(關門間ハ普通連絡料金ニ依ル)下關、宇品、神戸又ハ大阪驛ト新

橋驛トノ相互間

(ロ)樺太又ハ北海道發着ノモノ

中央小樽(青函間普通賃金ニ依リ同航路經由ノモノニ限リ取扱フ以下同

シ)青森驛(樺太發着ノモノ以上二驛ニ限リ取扱フ)北海道線各驛ト上

野又ハ秋葉原驛トノ相互間

B 人

(イ)關東州、朝鮮又ハ臺灣發着ノモノ

釜山(關東州又ハ朝鮮發着ノモノニ限ル)長崎、下關、宇品、神戸、又ハ

大阪驛ト新橋驛間

(ロ)樺太發着ノモノ

中央小樽(青函間經由ニ限ル)又ハ青森驛ト上野驛間

(ハ)北海道發着ノモノ

北海道各驛(青函間經由ニ限ル)ト上野驛間

四、汽車賃割引ノ方法及其歩合

(イ)拓殖博覽會所定ノ割引證票ヲ貼付シタル出品物ハ速達便及小荷物扱ノ

モノヲ除キ普通運賃ノ二割引ヲ低減ス但發着手数料及海上賃金關門間連絡

料金ハ割引セズ

(ロ)同上ノ證票ヲ所持スル出品人(通譯ヲ要スル土人ナルトキハ其通譯共)

ニ對シ貳、參等ニ限リ該票引換ニ普通賃金ニ割引ノ往復用乘車券ヲ發賣

ス

(ハ)同上ノ證票ヲ所持スル殖民地ニ在住スル二十人以上ノ團體觀覽人ニ對シ參等ニ限リ該證票引換ニ普通賃金五割引ノ往復用團體乘車券ヲ發賣ス此場合ニ於ケル關釜間汽船内ノ食費ハ各自ノ負擔トス

五、汽船賃割引區間左ノ如シ

A 物

(イ)關東州、朝鮮、臺灣ノ各港ト門司、神戸、大阪、橫濱各港ト相互間
(ロ)樺太、北海道ノ各港并室蘭、青森各港相互間及以上各港ト橫濱港トノ相互間

B 人

(イ)關東州、朝鮮、臺灣ノ各港ト門司、神戸、大阪、橫濱各港トノ相互間
(ロ)樺太、北海道ノ各港間并室蘭、青森間
(ハ)内地諸港ト橫濱港間

六、汽船賃ノ割引歩合

(イ)拓殖博覽會所定ノ割引證票ヲ貼付シアル貨物ハ普通運賃ノ二割ヲ低減ス

(ロ)同上ノ證票ヲ所持スル出品人及二十人以上ノ團體觀覽人ハ該證票引換ニ普通賃金二割引ノ片途用乘船券ヲ發賣ス

七、割引乘車券發賣期間

(イ)出品人其他 大正元年八月一日ヨリ十一月十日迄
(ロ)觀覽人 同 年九月二十日ヨリ十一月十日迄

八、割引券有效期間

A 汽 車

(イ)出品人其他 發行ノ日ヨリ十二月十八日迄

(ロ)觀覽人 同上ノ日ヨリ十二月廿五日迄

B 汽 船

(イ)出品人其他 往大正元年八月一日ヨリ十一月十五日迄

復 同年八月十日ヨリ一月廿五日迄

(ロ)觀覽人 往大正元年九月十五日ヨリ十一月十五日迄

復 同年九月廿ヨリ十一月廿五日迄

九、出品物其他材料運賃割引期間

運賃割引

五〇

(イ) 汽車
(ロ) 汽船

大正元年八月一日ヨリ十二月十八日迄
同 年八月一日ヨリ十二月廿五日迄

一〇、出品物運賃割引證ハ博覽會事務所ニ於テ作製シ陳列場ノ廣狹ニ應シ所要數ヲ概算シ豫メ各廳ニ配布ス各廳ニ於テハ證票ノ中央ヨリ右側餘白ニ廳印ヲ押捺シ荷函ノ大小ニ依リ二個所以上容易ニ剝落セサル様貼付セラレタシ

一一、出品物運賃割引證ハ拓殖博覽會場宛出品物及陳列、裝飾、建築等ノ材料其他設備ニ要スル品物ニ限リ貼付スルモノトス

一二、出品人、觀覽人等ノ運賃割引證ハ博覽會事務所ニ於テ作製シ豫メ各廳ニ回付ス各廳ニ於テハ汽車賃割引證ハ其餘白ニ、汽船賃割引證ハ往復雙方ニ掛ケテ廳印ヲ押捺シ第二項該當者ニ交付セラレタシ

一三、概算配布ノ割引證所要數ニ滿タサル場合ハ各廳ノ請求ニ依リ博覽會事務所ハ直ニ補充配布ス

一四、各割引證票様式ハ別紙ノ如ク定ム

表 八寸 面

住所 出品人 何 某 月 日 交付 取扱者		No.		拓殖博覽會出品人割引之證		住所 氏名 及年 齡		乗車 (船) 等 自 區間 至 自 區間 乘車 (船) 等 自 區間 至 自 區間		歩割引 武割引 參等ニ限ル		官 廳 名 印		拓殖博覽會 印	
-----------------------------	--	-----	--	--------------	--	------------------	--	---	--	------------------	--	---------	--	---------	--

〔住所氏名及年齢欄〕ト「乗車(船)區間」トハ必
ズ取扱者ニ於テ記入ノ上交付スルヲ要ス

影面記載事項承認セラレタシ

四 寸 一 分

運賃割引

五一

注意

一、此證票ハ拓殖博覽會出品人ニシテ左記區
 限リ乘車スル場合ニシテ引換ニシテ三等ニ
 スルコトヲ得ルモノトス
 (イ)關東州、朝鮮又ハ臺灣發ノモノ
 (ロ)關東州又ハ朝鮮發ノモノニ限ル長
 崎、下關、宇品、神戶又ハ大阪驛ト新橋
 驛間
 (ハ)樺太發ノモノ
 中央小樽(青函間經由ニ限ル)又ハ青森驛
 ト上野驛間
 (ニ)北海發ノモノ
 北海道線各驛(青函間經由ニ限ル)ト上野
 驛間
 二、割引乘車券發賣期間ハ大正元年八月十五
 日ヨリ同十一月廿日迄トス
 三、割引乘車券通用期間ハ發行ノ日ヨリ大正
 元年十二月廿八日迄トス
 四、割引乘車券ハ通用期間内ノモノト雖モ第
 二項ノ割引乘車券發賣期間内ニ使用ヲ開始
 セサルトキハ割引ヲ取消サルモノトス
 五、割引乘車券ハ券面ノ著驛ヲ乘越シスルト
 キ又ハ優等車ニ乘換スルトキ若クハ方向ヲ
 變換シタルトキ等々特別ノ制限モ有之ニ
 付注意ヲ要ス
 六、割引乘車券ハ往路ニ於テ復片具備セサル
 トキハ無效トス
 七、割引乘車券ハ往片使用開始ノ後復片ハ之
 ヲ使用セサル場合ト雖モ之ニ對シ價金ノ拂
 入ヲ受クルコトヲ得サルモノトス
 八、十二歳未満ノ小兒ニ對シテハ割引ヲナサ
 ス

面

寸

八

表

住所 引率人 何某一行 人	No.	拓殖博覽會觀覽人員割引之證		引率者 氏名 及團體 人員 一行	乘車 (船) 等 自 至 乘車 (港)	等級 五割 參導ニ限ル	割引	官廳名 團	拓殖博覽會 團	裏面記載事項承知セラレタシ
		月 日交付 取扱者	引率人 何某一行 人							

四 寸 一 分

注意

- 此證票入殖民地在住ノ拓殖博覽會觀覽人ニシテ二十名以上ノ團體ニシテ左記原間ヲ乘車スル場合ニ之ヲ引換ニ參券ニ限リ表記ノ乘車貨ヲ以テ往復用割引乘車券ヲ購求スルコトヲ得但下關、釜山間乘車貨銀ノ五割引ヲ受ケタルモノハ汽船内ニ於ケル食費ハ各自ノ負擔トス
- 關東州、朝鮮又ハ臺灣發ノモノ
- 釜山、關東州又ハ朝鮮發ノモノニ限ル長崎、下關、神戶又ハ大阪驛ト新橋驛間
- 中央小樽、青函間經由ニ限ル又ハ青森驛ト上野驛間
- 割引乘車券發賣期間ハ大正元年十月一日ヨリ同十一月二十日迄トス發賣ノ日ヨリ大正元年十二月五日迄トス
- 割引乘車券ハ適用期間内ノモノト雖モ第二項ノ割引乘車券發賣期間内ニ使用ヲ開始セサルトキハ割引ヲ取消サルモノトス
- キヤ又ハ優等車ニ乘換スルトキ若クハ方向ト變換シタルトキ導夫々特別ノ制限モ有之ニ付注意ヲ要ス
- 六、割引乘車券ハ往路ニ於テ復片具備セサルトキハ無効トス
- 七、割引乘車券ハ往片使用開始ノ後復片ハ之ヲ使用セサル場合ト雖モ之ニ對シ實銀ノ拂戻ヲ受ケルコトヲ得サルモノトス
- 八、十二歳未満ノ小兒ニ對シハ割引ヲナサズ

面

表

寸

八

住所	出品人(觀覽人) 何某、 月 日交付 取扱者
往航乘船運賃割引之證	往航乘船運賃割引之證
住所及年	住所及年
乘船	乘船
等級	等級
割引	割引
歩合	歩合
拓殖博覽會 印	拓殖博覽會 印

復航乘船實割引之證

之印

官廳

拓殖博覽會 印

拓殖博覽會 印

拓殖博覽會 印

四寸一分

以上ノ團體觀覽人ニシテ左記區間チ日本郵船
大阪商船ノ船中ニ乗船スル場合ニ本船
券ヲ購求スルコトヲ得ルモノトス
(イ)關東州、朝鮮、臺灣ノ各港ト門司、神戶、大阪、橫濱各港間
(ロ)樺太、北海道ノ各港間並室蘭、青森間
(ハ)内地諸港ト橫濱間
タモノハ無効トス
出品人自四十五年八月一日至同年十一月廿五日 六十一日間
團體觀覽人自四十五年九月十五日 六十二日間
三、此證書ハ管轄官衙ノ割引及拓殖博覽會ノ
證印ナキモハ無効トス

以上ノ團體觀覽人ニシテ左記區間チ日本郵船
大阪商船ノ船中ニ乗船スル場合ニ本船
券ヲ購求スルコトヲ得ルモノトス
(イ)關東州、朝鮮、臺灣ノ各港ト門司、神戶、大阪、橫濱各港間
(ロ)樺太、北海道ノ各港間並室蘭、青森間
(ハ)内地諸港ト橫濱間
タモノハ無効トス
出品人自四十五年八月十日 百廿八日間
團體觀覽人自四十五年九月廿日 六十七日間
三、此證書ハ管轄官衙ノ割引及拓殖博覽會ノ
證印ナキモハ無効トス

(復航乘船運賃割引證裏面)
往航乘船運賃割引證裏面
ハ二十人
此證票ハ拓殖博覽會出品人若クハ二十人
以上ノ團體觀覽人ニシテ左記區間チ日本郵船
大阪商船ノ船中ニ乗船スル場合ニ本船
券ヲ購求スルコトヲ得ルモノトス
(イ)關東州、朝鮮、臺灣ノ各港ト門司、神戶、大阪、橫濱各港間
(ロ)樺太、北海道ノ各港間並室蘭、青森間
(ハ)内地諸港ト橫濱間
タモノハ無効トス
出品人自四十五年八月十日 百廿八日間
團體觀覽人自四十五年九月廿日 六十七日間
三、此證書ハ管轄官衙ノ割引及拓殖博覽會ノ
證印ナキモハ無効トス

拓殖博覽會



出 品 荷 物

住所

出品人

月 日 交付 取扱者

第五節 關稅ノ免除

朝鮮及關東州ヨリ拓殖博覽會ニ出陳スベキ物品ニ對スル關稅ノ免除及其出品ノ爲メ朝鮮ヨリ移入スル煙草ノ取扱方ニ關シ拓殖局總裁元田肇ヲ通シ大藏省ニ交渉スル所アリタルニ官廳ノ出品タルト個人ノ出品タルトヲ問ハス總テ總督府又ハ都督府ニ於テ其官廳名ヲ以テ移出入ノ手續ヲ爲シ單ニ陳列ヲ目的トシ内地ニ於テ販賣セサルモノニ在リテハ特ニ該出品ニ對スル内國稅及煙草ニ關シテモ併セテ別記ノ手續ニ依リ取扱フヘキヲ以テ内國稅ノ賦課ヲ受ケサル出品及專賣品モ關稅ノ免除ヲ得タルモノト同シク賣買約定ヲ爲スヲ得サルコトヲ明カナラシムル爲メ拓殖博覽會規則第二十條但書中『關稅ノ免除ヲ得タル出品物』トアルヲ『出品物ニシテ關稅ノ免除ヲ得タルモノ内國稅ノ賦課ヲ受ケサルモノ又ハ專賣品』ニ改正スヘキ旨七月十七日大藏次官橋本圭三郎ヨリ回答ニ接シ同月十九日旨ニ從ヒ即チ會則ニ改正ヲ加ヘテ施行シタリ

關稅ニ關スル手續

關稅ノ免除

- 一、朝鮮總督府又ハ關東都督府ノ官廳名ヲ以テ輸(移)入スル拓殖博覽會出品ハ關稅定率法第八條第五號ニ準シ免除ノ取扱ヲ爲シ而シテ同條但書ニ依リ提供スヘキ擔保ハ朝鮮總督府又ハ關東都督府ノ證明書ヲ以テ之ニ代ヘシムルコト
- 二、出品ノ荷造ハ朝鮮總督府又ハ關東都督府ニ於テ之ヲ爲シ其外裝ニ一定ノ記號ヲ附スルコト
- 但該記號ハ總テ大藏省關稅局ニ通知スルヲ要ス
- 三、出品輸(移)入ノ際稅關ニ提出スル輸(移)入申告書ニハ拓殖博覽會出品ナル旨及博覽會終了後返送ノ際ニ於ケル輸(移)出港ヲ記入スルコト
- 四、輸(移)入申告ノ際別紙甲號ノ證明書ヲ提出スルコト
- 五、博覽會終了後出品返送ノ際ニ於ケル荷造ハ朝鮮總督府又ハ關東都督府ノ出張員ニ於テ之ヲ爲シ其外裝ニ發送ノ際ト同一ノ記號ニ附スルコト
- 六、出品返送ノ爲輸(移)入ノ際ハ輸(移)出申告ヲ爲スト同時ニ輸(移)入免除又ハ之ニ代ルヘキ稅關ノ證明書ヲ提出スルコト
- 七、輸(移)出申告ノ際別紙乙號ノ證明書ヲ提出スルコト

但シ證明書ニ記名調印スヘキ出張員ノ官氏名ハ豫テ大藏省關稅局ニ通知スルヲ要ス

- 八、出品輸(移)入ノ日ヨリ一年內ニ輸(移)出ヲ爲サ、ルトキハ關稅ヲ賦課セラルヘキコト
- 九、關稅免除ノ取扱ヲ受ケタル物品ニ付キ稅關官吏ニ於テ必要ト認ムルトキハ其運送又ハ藏置ニ關シ相當ノ取締ヲ爲シ若ハ其出陳、藏置、運送中ノヲ検査スルコトアルヘキコト

內國稅ニ關スル手續

一、酒類

- (一)臺灣ノ酒精ニ付テハ其課稅ノ免除及之ニ伴フ取締等ハ臺灣總督府ニ於テ適當ノ方法ヲ設クルヲ要スルコト
- (二)臺灣ノ酒精以外ノ酒類及樺太ノ酒類ニ付テハ左記ノ事項ヲ確守スル場合ニ限リ其出品ヲ承認スルコト
- イ、移入ハ必ス官廳名義ナルコト

關稅ノ免除

關稅ノ免除

六〇

ロ、出品人ハ内地ニ於テ審査用ヲ除クノ外消費セス必ス發送元へ返送スルコト

但シ拓殖局其他關係官廳へ參考品トシテ引繼ヲ了シタルモノハ此限ニアラス

ハ、前項ニ依リ審査ニ供シ又ハ參考品トシテ引繼ヲ了シタルトキハ博覽會又ハ引繼ヲ受ケタル官廳ハ其種類及數量ヲ博覽會場所轄ノ稅務署ニ通報スルコト

ニ、博覽會場ニ搬入シタルトキ及返送セントスルトキハ其種類及數量ヲ博覽會場所轄ノ稅務署ニ通報スルコト

二、醬油

酒類ノ手續ニ準スルコト

三、砂糖、織物、石油、骨牌

關稅ニ關スル手續第八號ハ砂糖、織物、石油及骨牌ノ課稅ニ之ヲ準用スルコト

四、賣藥

賣藥ハ何レノ場合ニ於テモ之ヲ販賣スルヲ得サルコト

五、内國稅ノ賦課ヲ受ケサル取扱ヲ受ケタル物品ニ付キ收稅官吏ニ於テ必要ト認ムルトキハ其出陳、藏置又ハ運送中ノ之ヲ檢査スルコトアルヘキコト

專賣品ニ關スル手續

一、煙草

(一) 煙草輸入ノ場合ニ於テハ博覽會終了後專賣局ニ寄贈ヲ爲スカ又ハ返送ヲ爲スヲ條件トシテ煙草專賣法第三十一條ニ依リ輸入ヲ許可スルコト前項ノ許可ヲ受クルニハ煙草專賣法施行細則第三十六條ニ依リ輸入許可申請書ヲ專賣局ニ提出スルヲ要スルコト

(二) 煙草移入ノ場合ニ於テハ今回限り前項輸入ノ場合ニ準シ取扱フコト

二、專賣品ハ内地ニ於テ審査用ヲ除ク外消費セサルハ勿論出陳ヲ終リタルトキハ之ヲ專賣局ニ寄贈ヲ爲スカ又ハ所管專賣支局ニ申出全部發送元へ返送スルコト

三、前項ニ依リ審査用ニ供シタルトキ又ハ博覽會場ニ搬入シタルトキ及返送

關稅ノ免除

六一

二 セントスルトキハ其種類及數量等ヲ博覽會場所轄專賣支局ニ通報スルハ勿論出陳ヲ終リタル後發送元へ返送ヲ爲シタル專賣品ニ於テハ輸(移)出免狀並陸揚ヲ爲シタルコトヲ認ムヘキ書類ヲ專賣局ニ提出スルコト

四 專賣品ニ付キ專賣局官吏ニ於テ必要ト認ムルトキハ何時ニテモ出陳、藏置、運送又ハ荷造ニ關シ檢査ヲ爲スコトアルヘキコト

證明書

別紙目錄ノ物品ハ拓殖博覽會ニ出陳スルモノニシテ當ニ於テ荷造ヲ爲シ發送シタルモノニ相違無之此段證明候也

年 月 日

朝鮮總督府
關東都督府

印

(乙) 號

證明書

別紙目錄ノ物品ハ曩ニ拓殖博覽會ニ出陳シタルモノニ候處同博覽會閉會ニ付

當 出張員ニ於テ荷造ヲ爲シ返送スルモノニ相違無之此段證明候也

年 月 日

朝鮮總督府
關東都督府

出張員官氏名印

第六節 諸人種招徠

拓殖博覽會ハ新領土及勢力圈内ニ於ケル天產物、加工品ノ蒐集ノミニ満足セス理學博士坪井正五郎ヲ顧問トシ帝國版圖内ノ各人種ヲ招徠シテ親シク彼等ノ性格及生活狀態ヲ觀覽シ今後如何ニ彼等ヲ訓導スヘキカヲ研究スルノ機會ヲ内地人ニ寄與スルノ計劃ヲ立テ土人家屋構造ノ調査及建築材料ノ蒐集、土人家族ノ招聘等各般ノ準備事務ヲ理學士石田收藏、理科大學助手大野延太郎ニ囑託シ石田ハ七月廿三日北海道、樺太ニ大野ハ同月廿四日臺灣、朝鮮ニ向ツテ出發シ九月初旬ニ及ヒテ歸着スルヤ其調査研究ニ依リテ得タル資料ヲ基礎トシテ直ニ家屋ノ建築ニ着手シタルニ秋雨頻リニ來リ工程遅々トシテ進捗セスニ招聘ノ土人

來着シタルモ容ル、ニ家ナク數日間外泊セシムルノ止ムナキ窮狀ニ陥リタルモ
開會後二日即チ十月二日ニ至リ全部新ニ設ケタル土人部落ニ收容スルヲ得タリ
出場ノ土人ハ

臺灣臺北土人

吳炳文

盧氏銀(妻)

臺灣屈尺蕃ウライ社蕃人

バットチユーワス

ピスイヤゴ(妻)

ユミンバット(長男)

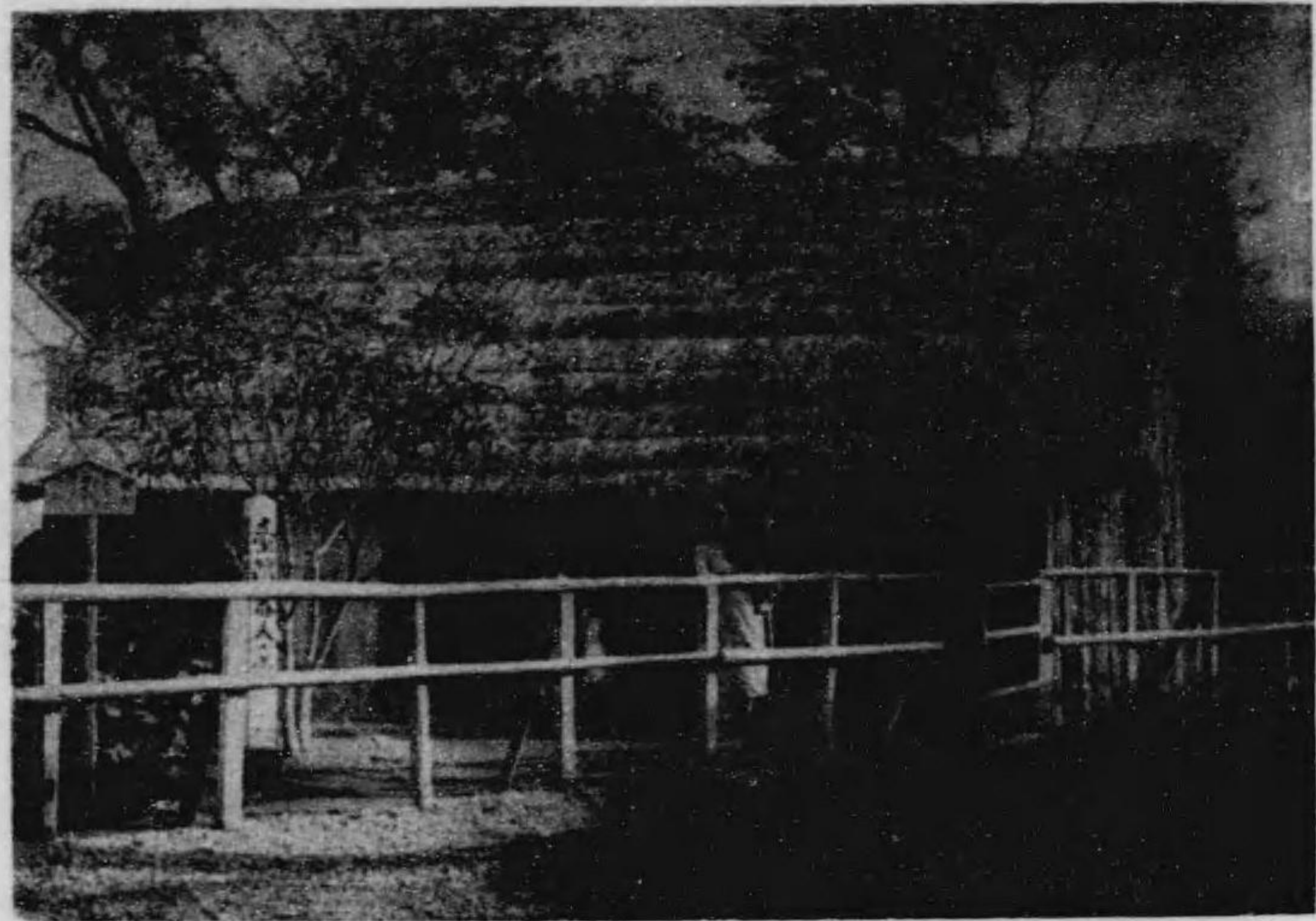
チユーワスバット(長女)

バイバイバット(二女)

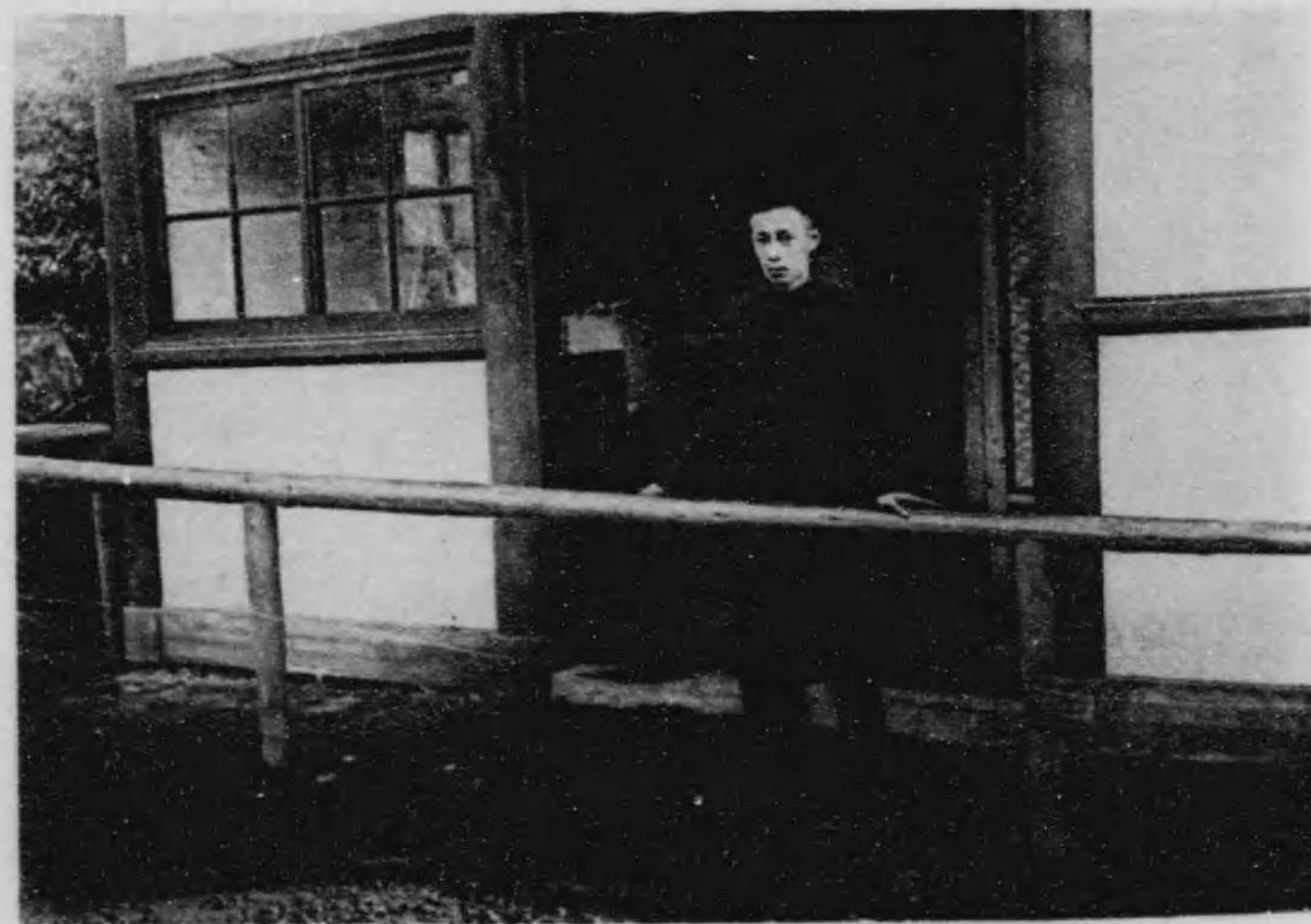
樺太オタサムアイヌ

チロコ

イネヘンエコンノ(長女)



臺灣蕃人の家屋



臺灣土人



マイア太樺



北海道のマイア屋家



盛装せる人



クーヤリギは人三の右て向
コツロオは人一の左

コツロオ 及 クーヤリギ

チユコモリ(大工)

ギリヤーク

ポーコン

チエフレヌト(妻)

ブニユン(従僕)

オロツコ

チバロツク

北海道日高アイヌ

コレヤタン

キシノ(孫)

ウエンサナス(彫刻師)

ノ十八名ニシテ吳炳文ノ外何レモ母國ノ言語ニ習熟セサルヲ以テ早乙女由松
(臺灣蕃務署巡查)佐々木政治(樺太廳囑託)吉岡信平(ギリヤーク通譯)ヲ招聘シ
テ通譯及監督ノ任ニ膺ラシメタリ

第七節 觀光館ノ建築

各種各様ノ異彩ニ富メル出品ト土人部落ノ建設トニ依リテ拓殖地ノ狀況ヲ紹介スルニ略ホ遺憾ナキヲ得タリト雖モ活動寫真ヲ以テ各地ノ風物ヲ映寫シテ觀覽ニ供スルニ於テハ更ニ十全ヲ期シ得ヘケント關係各廳ニフキルムノ提供ヲ懇請シ之ト同時ニ後庭ノ空地ヲトシ活動寫真館ノ建築ニ着手シ九月二十五日百六十坪ノ半永久の大家屋ノ竣成ヲ見タリ名ケテ觀光館ト稱ス蓋シ居ナカラニシテ各地ノ風光ヲ觀ルノ義ナリ其各廳ヨリ提供セラレタルフキルム目錄ハ左ノ如シ

▲朝鮮 東大門、南大門并京城市中△京城市街及汽車組立△總督府醫院及京城市街△鵲院關、水原、漢江、平壤市街及鴨綠江釜山停車場連絡△船朴淵ノ瀑△大同江、鴨綠江結氷

▲臺灣 內田長官視察并ガオガン蕃社内ノ實況△ボンボン山架橋通過△蕃人ノ住宅及首棚蕃婦△警察隊ノ前進△討伐隊ノ活動△バロン山ノ砲擊△製糖會社及打狗港

▲關東州 大連市全景△長春日露連絡△遼河水運ノ實況△大連築港方塊製造運搬△浚渫船泥受作業外ニ幻燈映畫五十枚

▲樺太 馴鹿放牧ノ光景△海豹島ニ於ケル臘肭獸群游ノ光景△拓殖鐵道沿線ノ農村森林漁業ノ光景△捕鯨ノ光景

▲北海道 汽車旅行（函館ヨリ小樽札幌釧路室蘭ニ至ル）△大牧場ニ於ケル牛馬ノ放牧△鯔地曳網及搾粕製造△石炭ノ採掘並運炭車△森林ニ於ケル伐木并流送ノ實況△札幌小樽市街及函館港△大沼公園ノ舟遊△麥酒釀造

第八節 庭園等ノ開放交渉

拓殖博覽會ノ開催ヲ機トシ常ニ一般ニ公開セサル試驗場、庭園、學校及帝室博物館、同附屬動物園、小石川植物園、遊就館等ヲ無料ニテ觀覽セシムルニ於テハ智見啓沃ノ上ニ多大ノ效果アルヘキヲ思ヒ拓殖博覽會ヨリ交付スル證票ヲ携帶スルモノニ限り無料觀覽ノ特典ヲ附與セラレンコトヲ各方面ニ交渉スル所アリタルニ帝室博物館并動物園、遊就館、小石川植物園ハ團體觀覽ノ場合ハ普通料金ノ半減ヲ小石川後樂園ハ前々日中陸軍省ニ引率者ノ氏名、參觀人員及日

時ヲ申出ツルニ於テハ參觀證下付ヲ、千住製絨所ハ十月一日ヨリ六十日間ニ於テ三日ヲ限リ三百人以内ノ團體一日一回ノ參觀ヲ、伯爵酒井忠興庭園、東京高等工業學校（月水金ノ三日間午後一時迄）水産講習所（團體參觀）東京蠶業講習所ハ何レモ無料觀覽ノ承諾ヲ與ヘラレタルヲ以テ小石川後樂園參觀ノ他ハ左ノ參觀證ニ拓殖博覽會ノ印章ヲ押捺シ之ヲ希望者ニ交付シテ觀覽セシメタリ

第五章 出 品

拓殖博覽會觀覽團

何々參觀之證

引率者

外

人

第一節 殖民地出品物

拓殖博覽會ニ於ケル殖民地ヨリノ出品物ノ總數九千三十七點、人員二千六十六人ナリ其種別及各廳別ハ左表ノ如シ

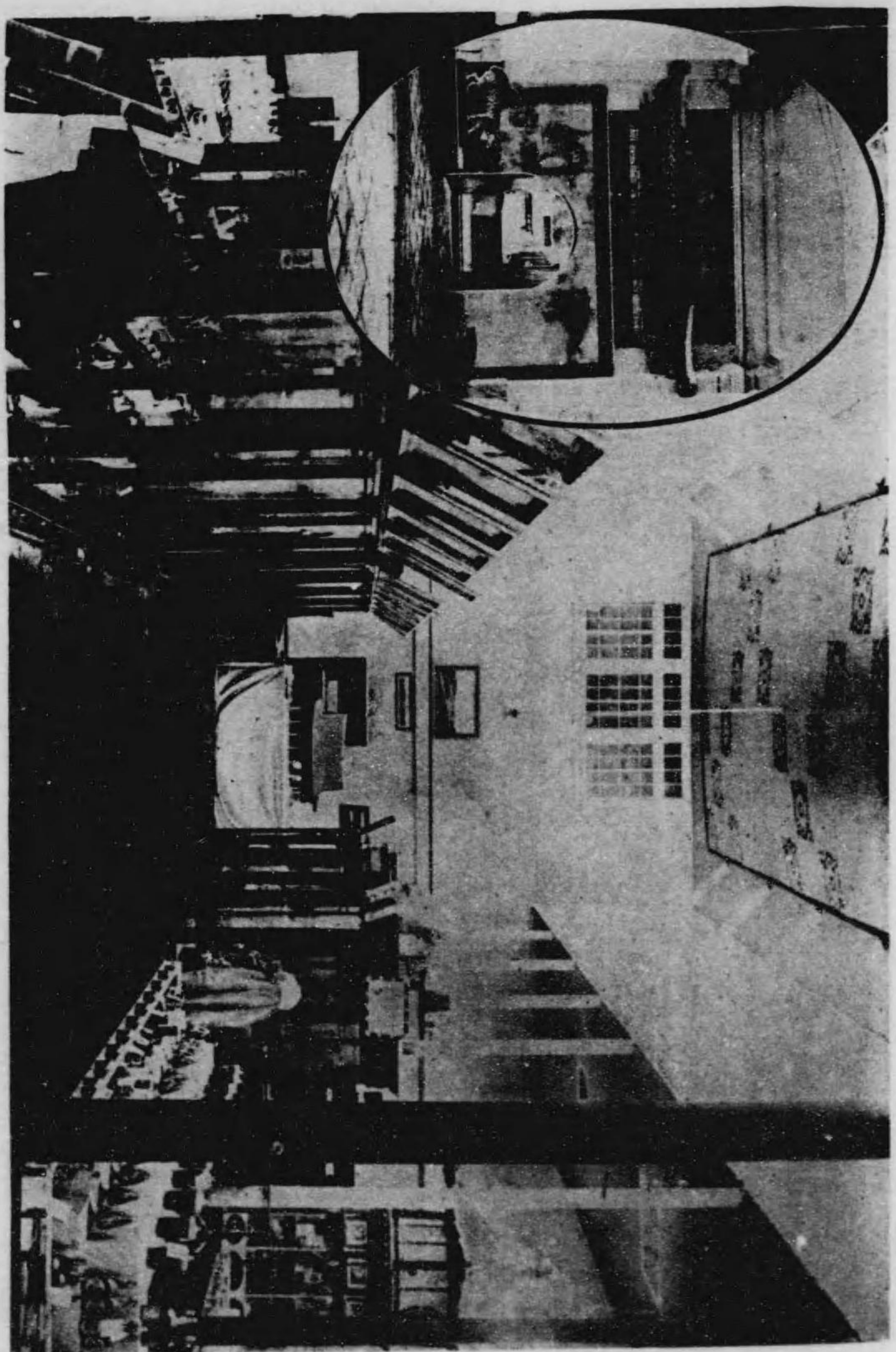
種別	廳名	朝鮮	臺灣	關東州	樺太	北海道
農 產	六七 ^人	一六 ^點	三五 ^人	一 ^人	四 ^人	二四五 ^點
林 產	一七	四七	六〇	三	四	一〇八
水 產	八七	一五 ^三	二六	一	二五	一四五
礦 產	三	三七	二〇	二	一	二
工 業	一七	八七	一六	二	六	二六
雜	五〇	二四 ^五	一三	一	八	一
合 計	一、〇〇一	三、〇三二	五、二二	二〇	五三	四、八二

第二節 参考部出品物

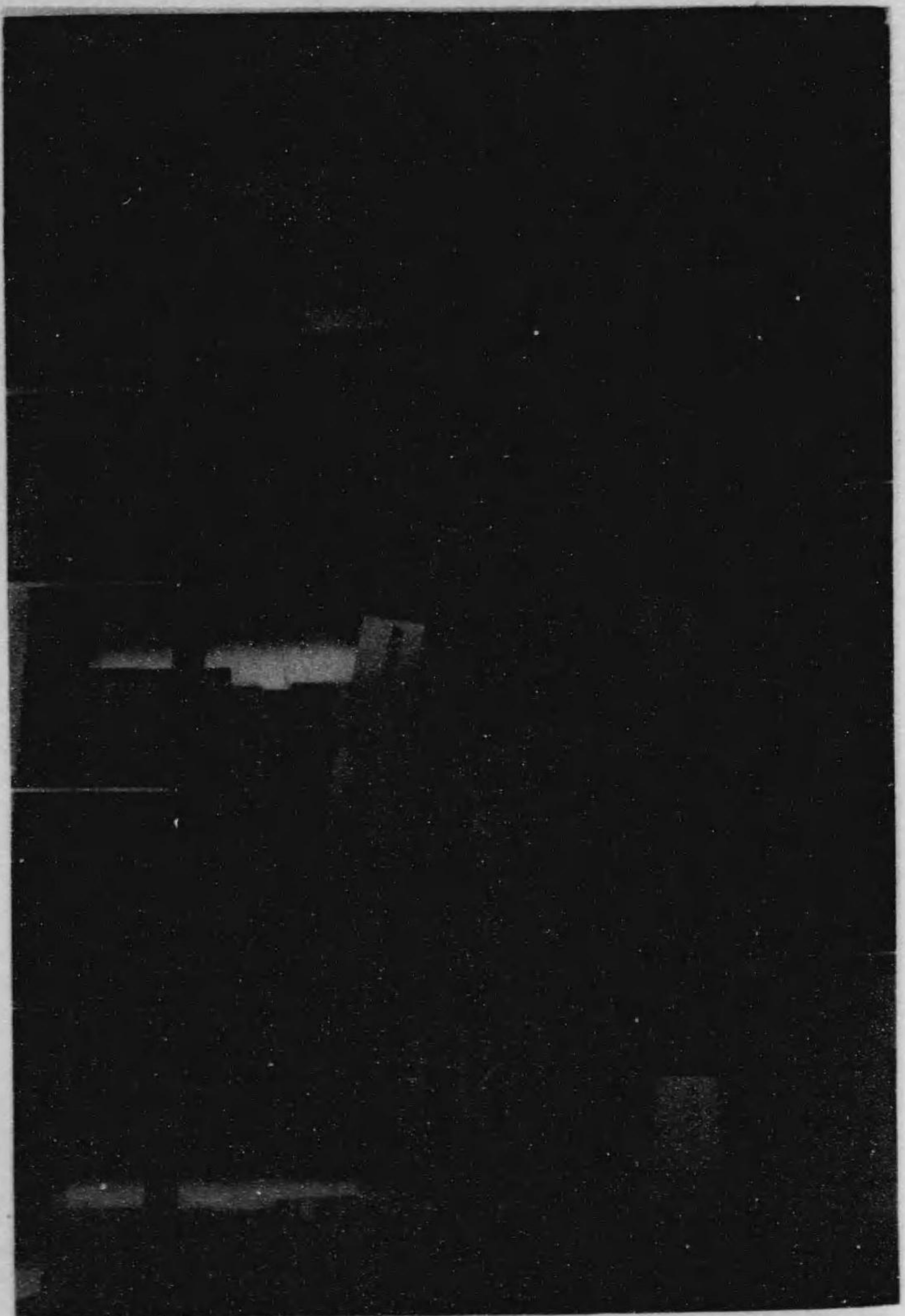
拓殖博覽會場ノ中庭及各殖民地陳列區ノ地積ヲ除キタル百九十二坪ヲ參考出品區ニ充テ内地製品ヲ陳列セリ其出品人ノ總數五十一人ニシテ大阪市ハ特ニ出品協會ヲ組織シ五十坪ノ大地積ヲ割リテ同市ノ特產物ヲ出陳シテ即賣ヲ爲シ東京市ノ出品人中拓殖博覽會ニ於テ賣約ヲ受託シタル二十八人ノ他ハ何レモ店員ヲ特派シテ即賣セシメ日本郵船株式會社ノ如キハ繪端書ヲ特製シ無料ヲ以テ觀覽人ニ頒布シ同社ノ事業ヲ紹介スルニ勉メタルガ賣約ヲ委託セラレタル出品物ノ賣上ノ總額ハ實ニ二千三百七圓二十九錢五厘ノ多キニ達シタリ

第三節 参考部以外ノ参考品

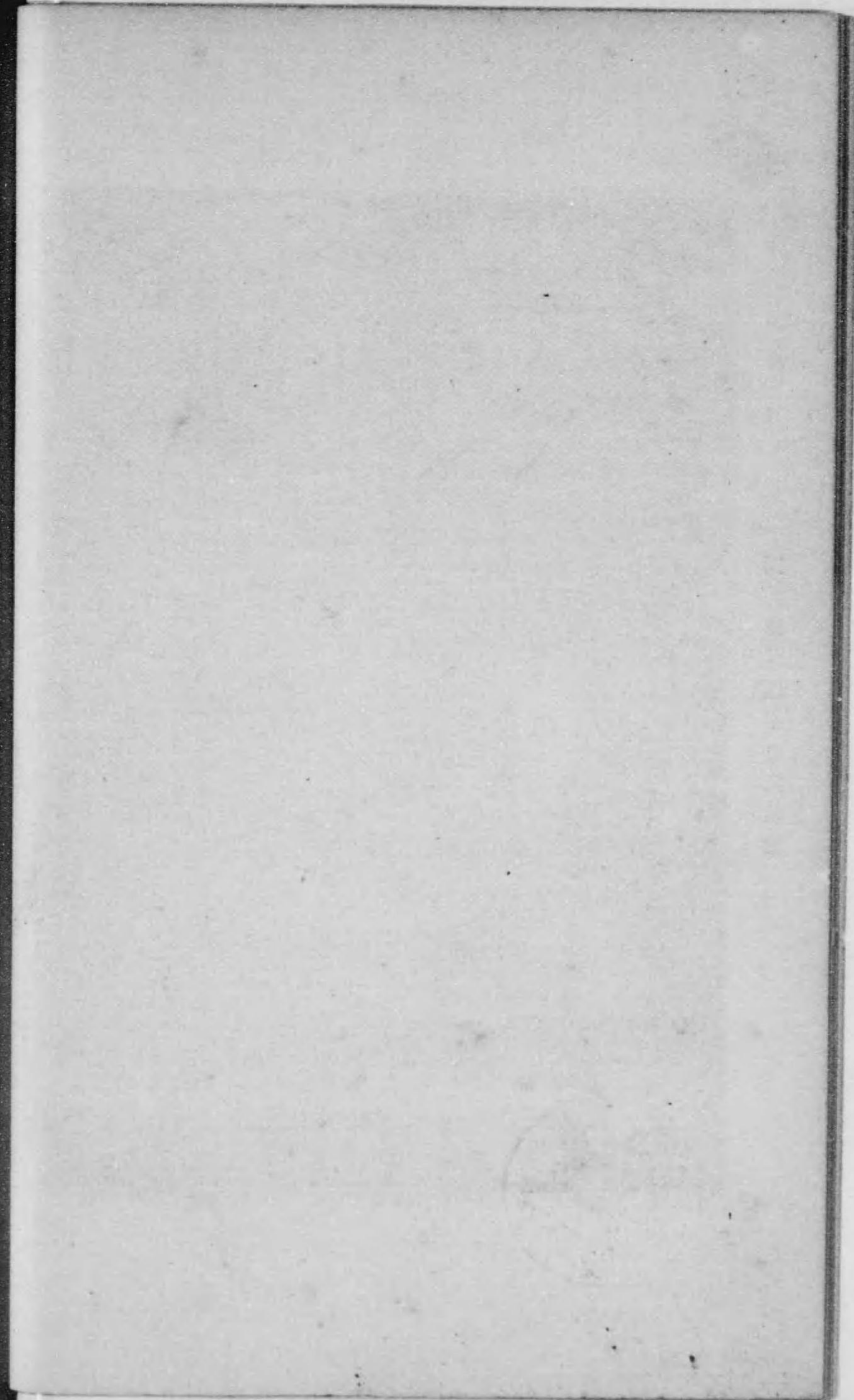
中庭ノ空地ヲ利用シテ拓殖局、農商務省陳列館、在布哇日本商人同志會、名和昆蟲研究所、平瀬貝類館等ノ參考出品ヲ二階ニ東京帝國大學理科大學人類學教室ノ人類學標本ヲ三階ニ樺太協會及東洋協會ノ古本書類、本派本願寺ノ布教團等ヲ陳列シ殖民雜誌社寄附ノ圖書館ヲ設置スル等尙クモ殖民思想ノ啓沃ニ資

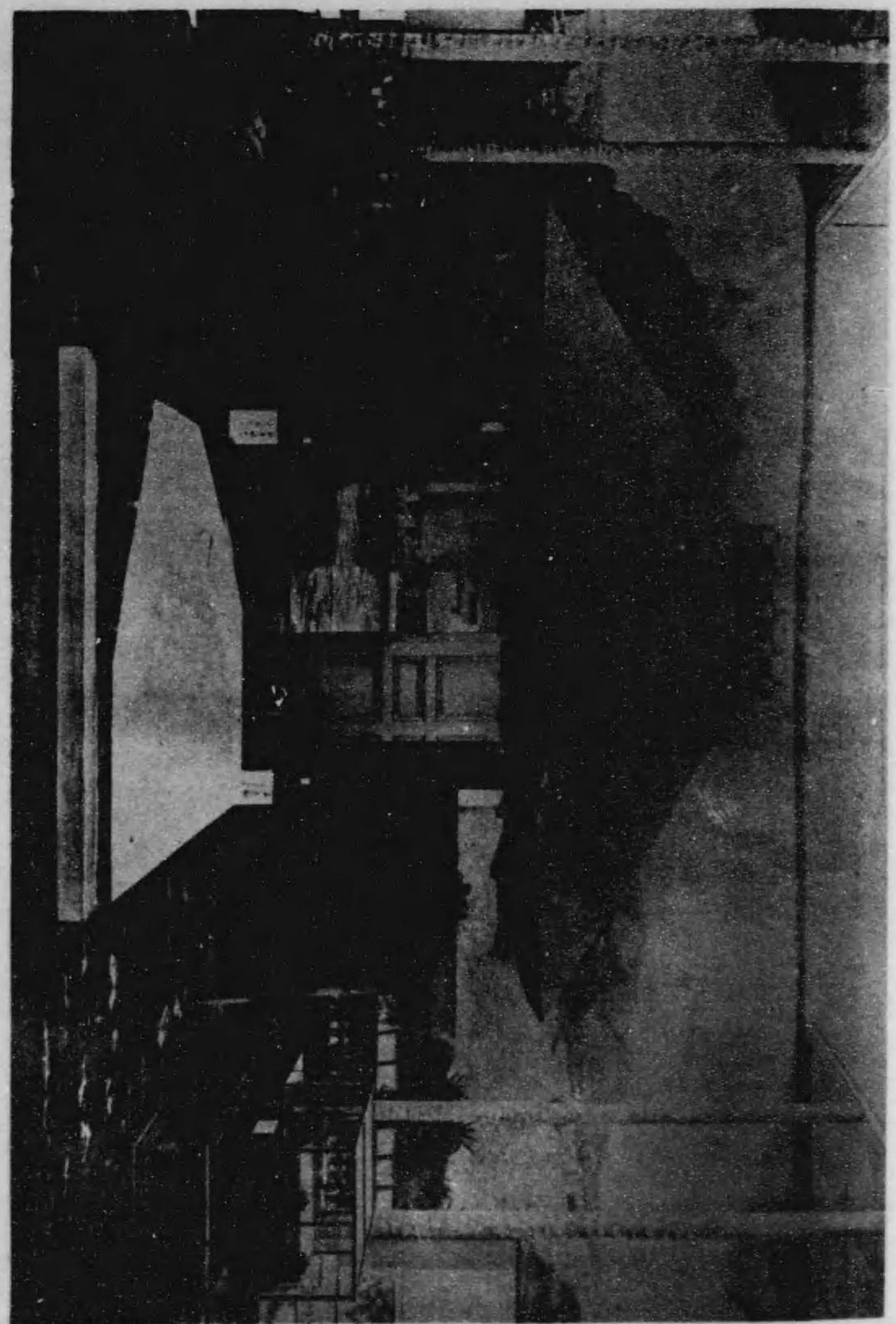


門大南と部一の館鮮朝



(橋鐵江線鳴) 部一ノ館鮮朝



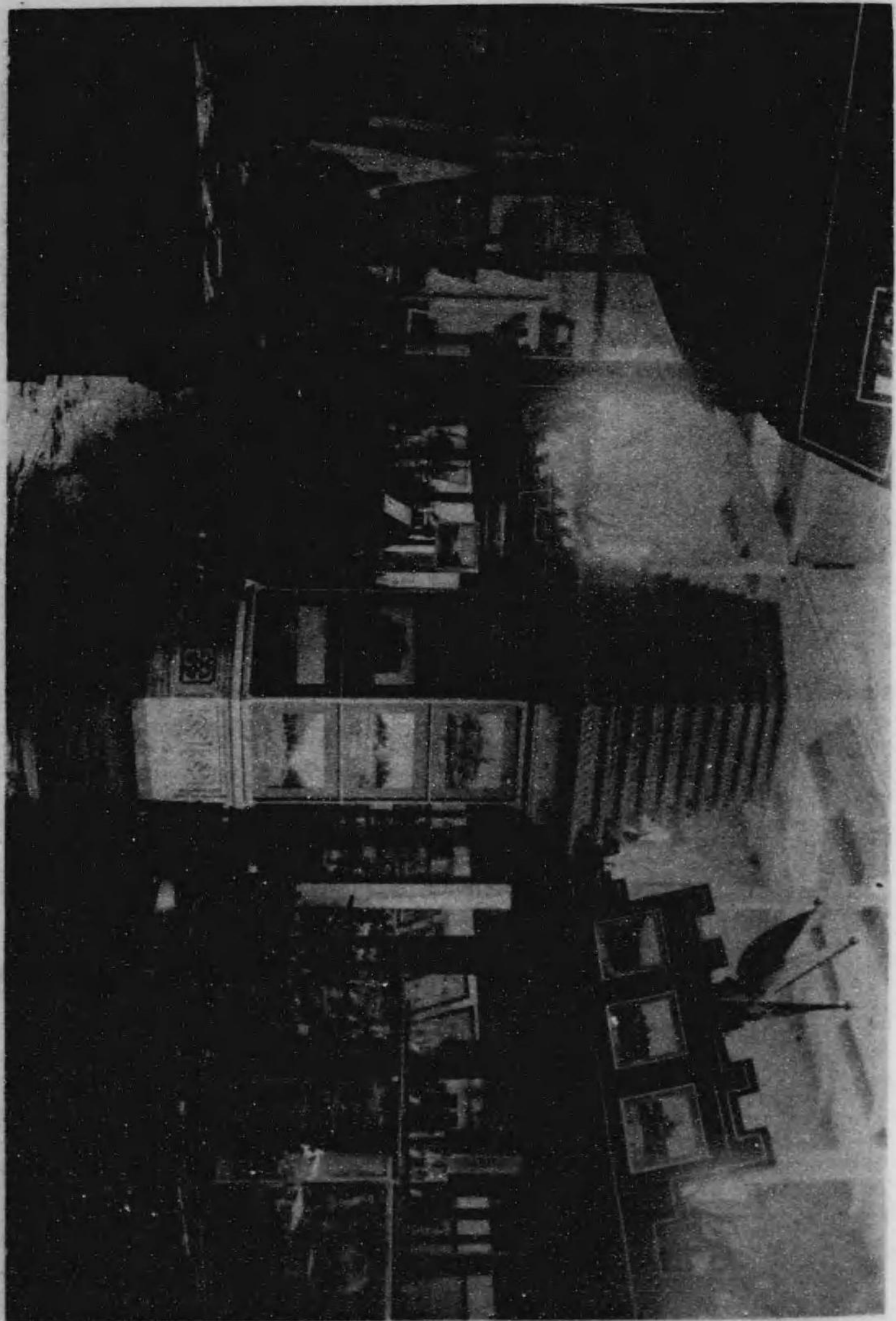


第一の館 博 覧 室

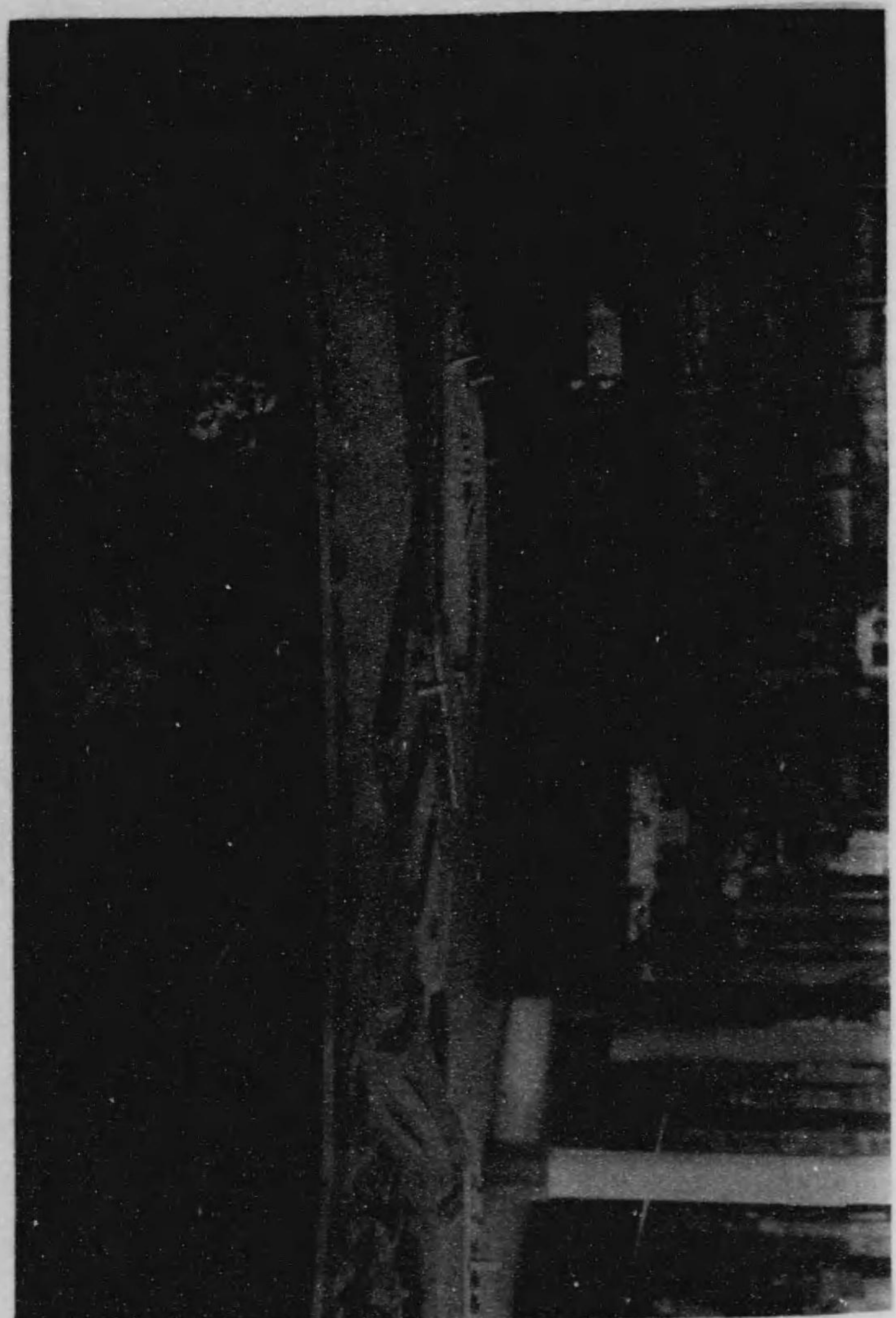
1935
1936
1937
1938
1939



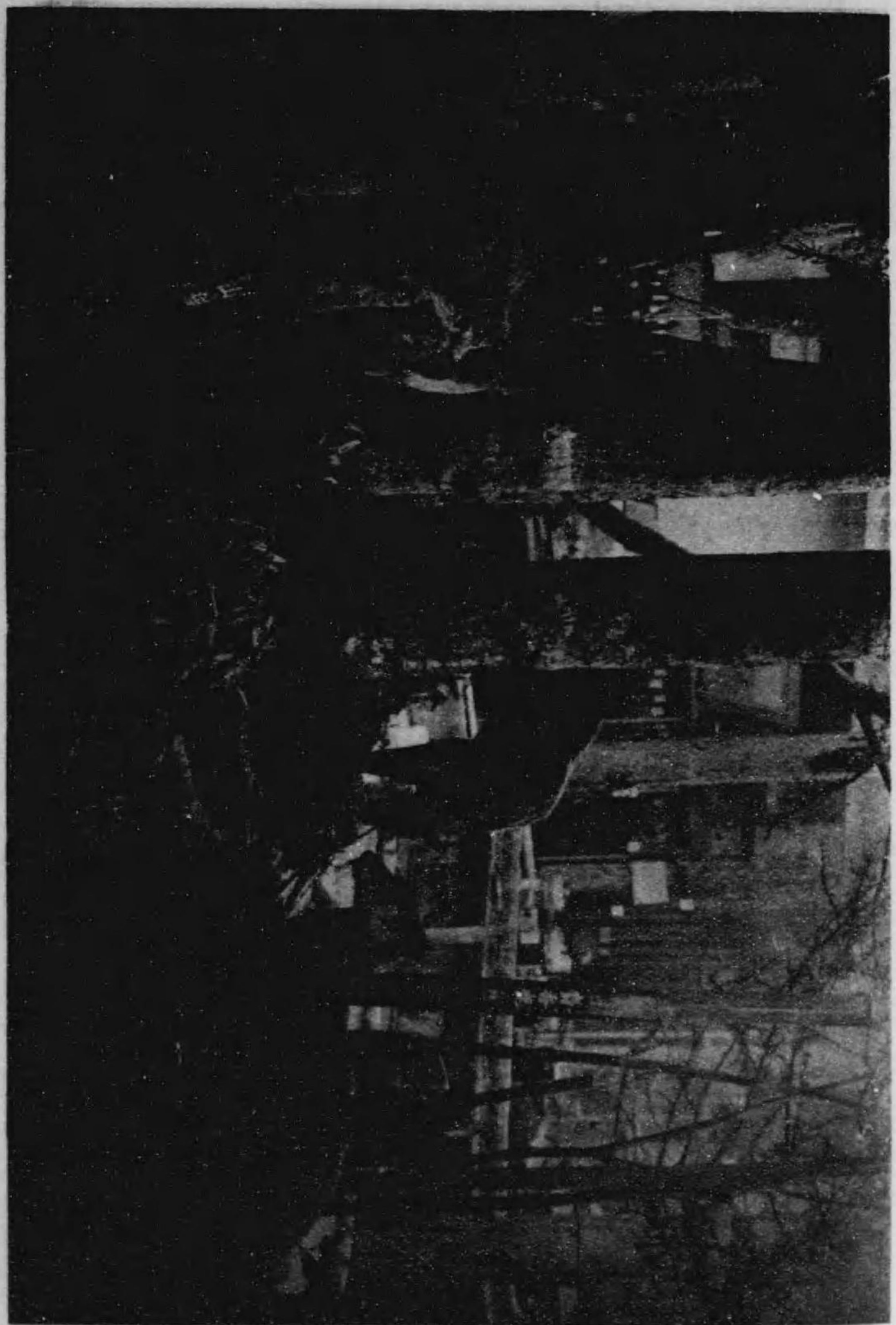
(家農の人士) 部一の館機塞



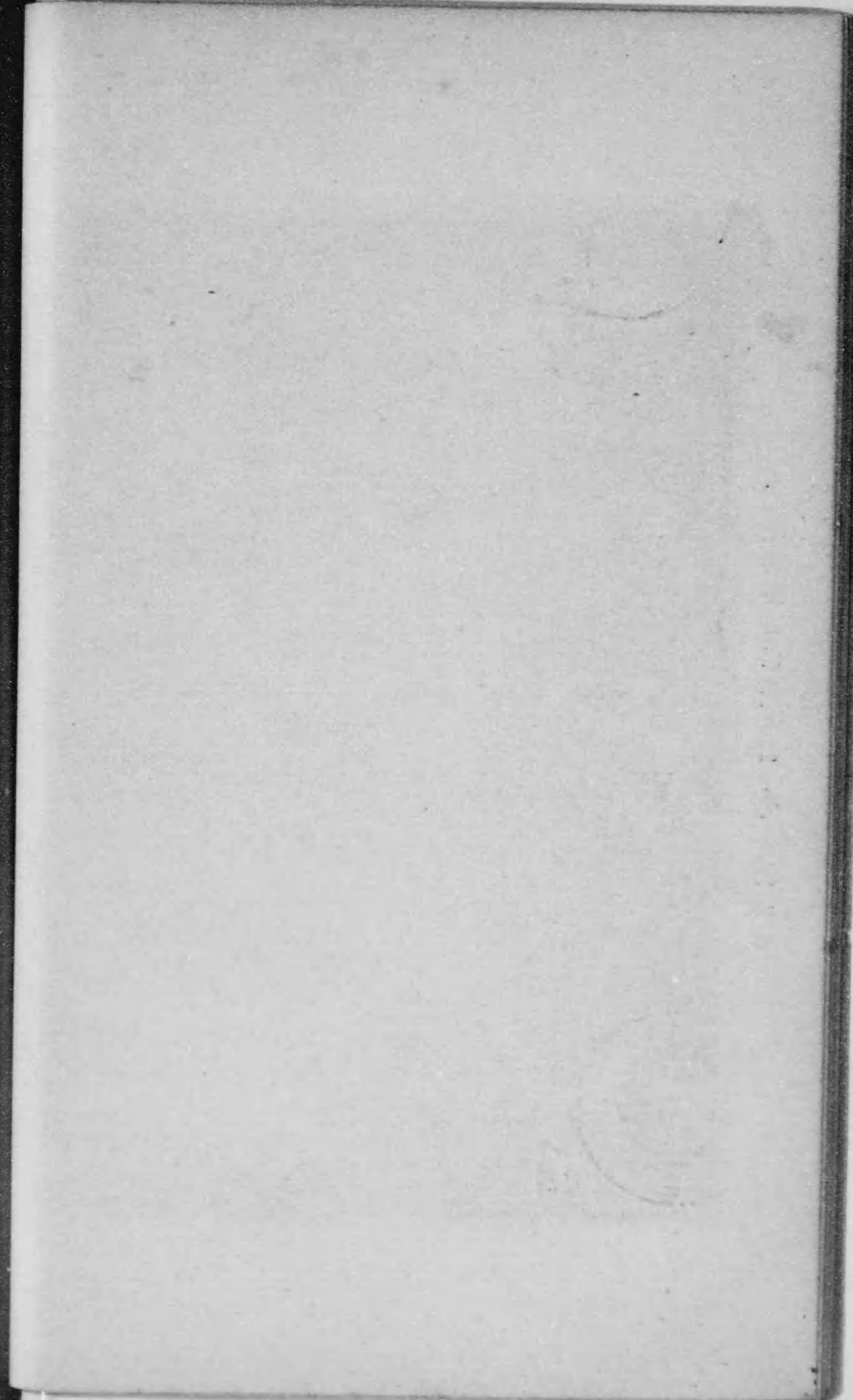
關東州館の一

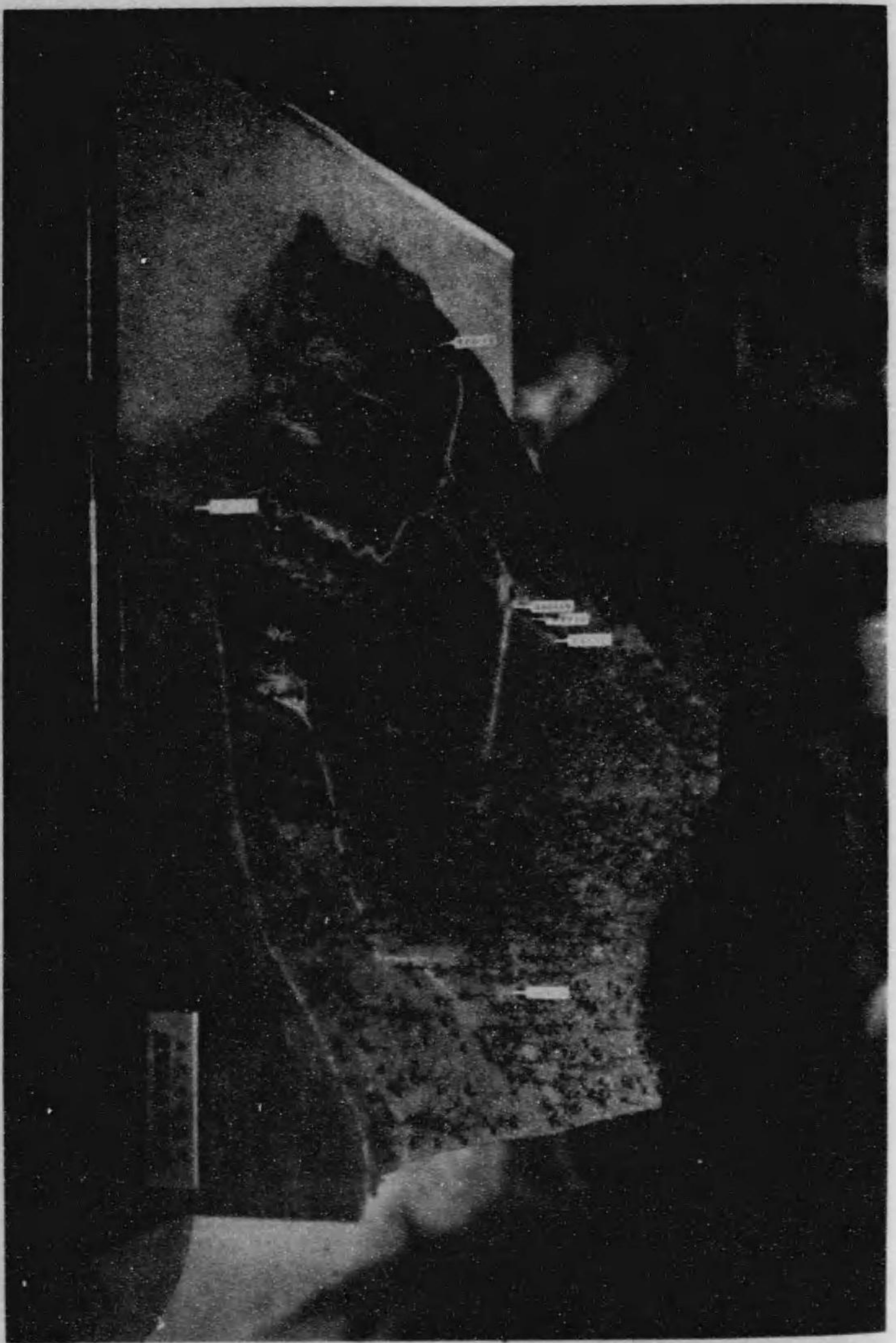


(北山冠鷄) 第一 館州東關

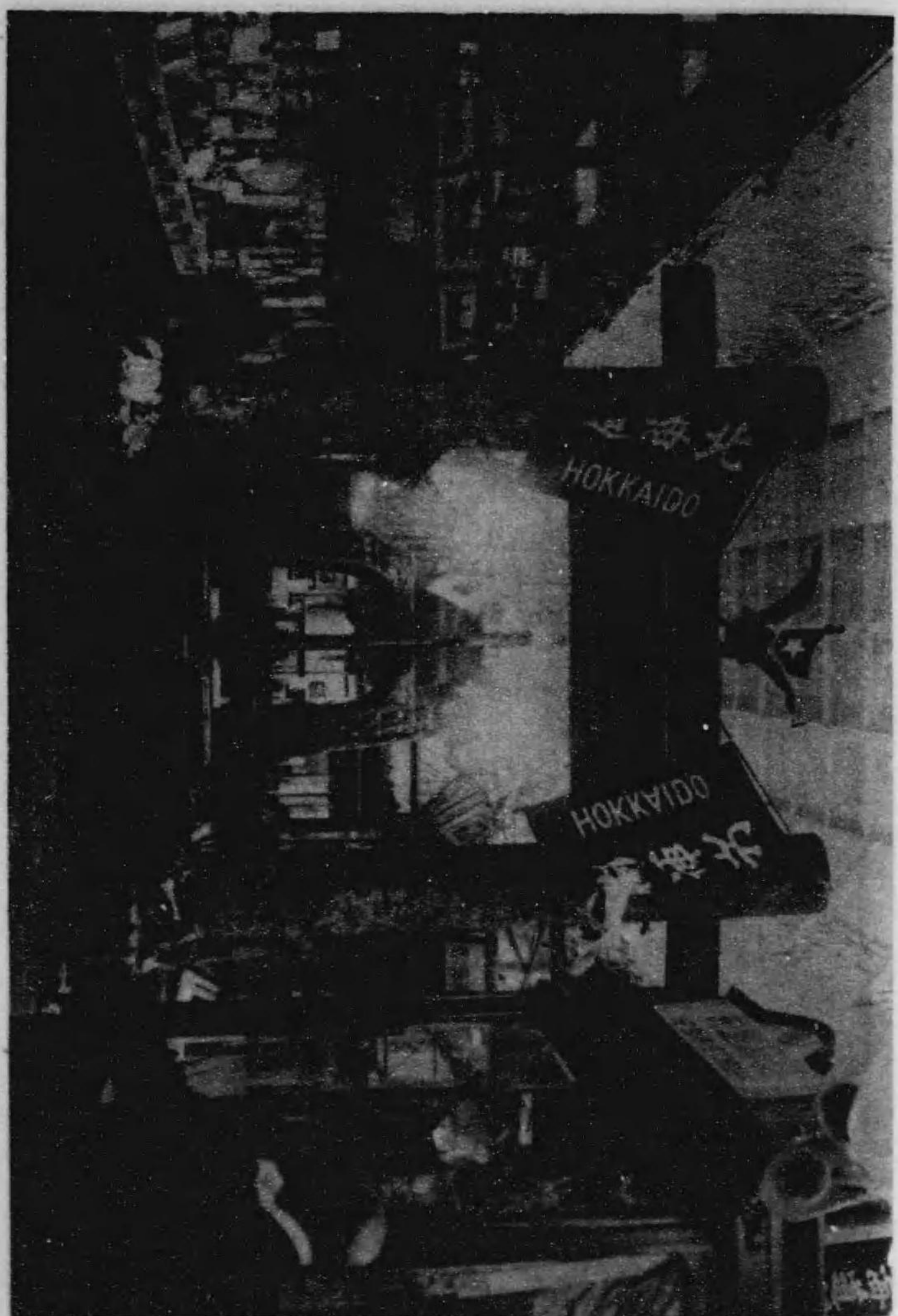


榎太館の一部分

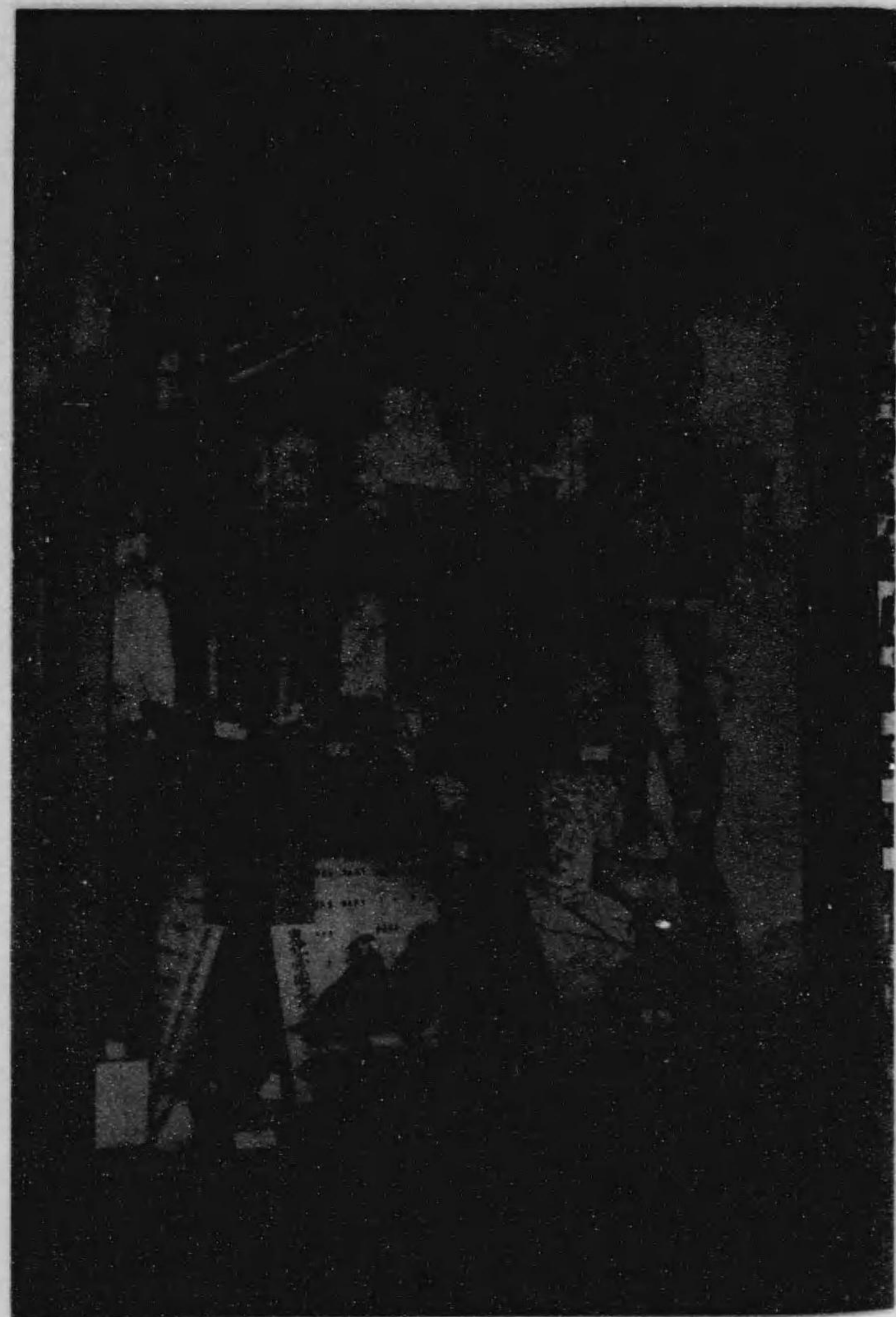




太棒境界模型



北海道の第一



部一ノ館道海北

スヘキ施設ハ悉ク之ヲ整備スルニ力ヲ致シタリ

第四節 陳列裝飾

拓殖博覽會出品物ノ陳列裝飾ハ關係各廳及出品人ノ自由ニ任セ參考部ノ天井張ヲナシタル外本會ハ毫モ之ニ與ラス各々相競ヒ相爭フテ意匠ヲ凝ラシタルヲ以テ各部各種ノ特色アリ精彩アリテ觀覽人ノ目ヲ娛ハセシコト尠カラサリシカ細大トナク之ヲ叙述センハ本報告ノ目的ニアラサルヲ以テ新聞紙ノ批評的記事ヲ借リテ其一斑ヲ示スニ止メン

▲臺灣館 正門ヲ入りテ左折スレバ白雪疎林ノ間ヲ縫フテ走レル樺太犬橋ノ模型アリ光景眞ニ迫レリ借先ヅ臺灣館ニ入レバ東京材木問屋ノ出品セル阿里山ノ檜材ニテ造レル京都法然院ノ正門ノ模型アリ館内四圍二十四尺幅八十間ノ大壁畫ニハ臺灣ノ打狗港ノ圖ヨリ始メテ蔗園、茶園等ヨリ風俗ノ一般ヲ描ケル其一隅ニハ各種ノ統計ヲ掲ゲテ其進歩ノ趨勢ヲ一目瞭然タラシメシハ好キ思ヒ付キト云フ可ク樟腦茶ノ如キ何レモ長足ノ進歩ヲ爲セルニ似ズ米ノ産額ハ却テ減少セルハ稻田化シテ蔗園トナレルモノニシテ一面却テ臺灣糖業ノ發達ヲ説明スル

モノナリト云フヘク棕櫚其他ノ特殊植物ヲ以テセル鬱蒼タル摸造林ヲ始メ打狗港、基隆築港、臺北水道等ノ模型ハ何レモ臺灣ヲ了解セシムルニ好個ノ材料ナリ阿里山ノ良材嘉義廳下ノ竹ヲ始メ農礦物産ノ多種多様ナル流石ニ我國ノ一大寶庫ルニ背カタズト云フ可シ

▲樺太館 椰子ノ葉繁レル臺灣館ヲ去ツテ樺太館ニ入レバ光景全然一變シテ馴鹿山猫臘肭獸黑貂ナト云フ剝製ノ動物落葉松、假松立チ茂リ鮮苔、色青キ下ニ躍レルナドソゾロニ北方ノ原野ヲ想像セザルヲ得ズ樺太ハ寒帯不毛ノ地ナリト誤解スル勿レ全土ノ五分ノ四ハ殆ンド森林ヲ以テ蔽ハレ各種ノ良材ヲ出シ西海岸ニハ鱧ノ産額年々三百五十萬乃至四百五十萬圓ニ及ビ漁場ノ數三百五十三個ヲ算シ東海岸ニハズンドラト稱スル鮮苔生ジ連亘八里幅二十里ノ長キニ及ビ從來馴鹿ノ餌食タリシモノ今ヤ製紙原料トシテ頗ル有望ナリト云フ露國式丸太家屋ノ模型ハ面白ク針葉樹ノ丸木ノ間ニ水臺又ハ麻屑ヲ挾ミ天井ニハ厚板ヲ張リ土ヲ載セ屋根ニハ鷄ナト飼ヘリペーチカ(露國式暖房)ヲ置ケハ冬期氷點以下數十度ニ及フモ室内春ノ如シトカヤ其他館内農産水産ヲ網羅セルカ臺灣ト樺太トハ熱帯ト寒帯ト兩極端ヲ代表シテ其差異著シク對象シ來リテ興味最モ深シ

▲朝鮮館 ノ入口ニハ京城南大門ノ模型アリ門ヲ潜レハ朝鮮全土慶福宮内ノ慶會樓、慶州佛光寺石窟内ノ多寶塔ノ模型等最モ人ノ目ヲ惹ク可シ此ノ館ニ主トシテ出品セルモノハ總督府、東洋拓殖會社、韓國興業、村井農場、勸業模範場等ニシテ在來ノ朝鮮人農工業ノ有様ト内地ヨリ移住セシモノノ現況トヲ説明シ且ツ如何ニ兩者ガ接觸シ交渉シテ漸次進歩ノ過程ヲ辿リツツアルヲヤ説明ス可キ好個ノ材料多ク鴨綠江ノ回轉橋梁ノ模型李王家出品李王朝初期ノ甲冑等ハ何レモ珍ラシキモノ、一ナリキ

▲北海道館 正門ハ楡ノ皮ヲ張リ門ノ横木ニハ大鷲翼ヲ張リテ睥睨シ柱ノ下部ニハ十字狐靜ニ控ヘタリ内地トハ稍趣ヲ異ニスレド北海道ハ舊土ナレバ三井物産炭礦會社王子富士兩製紙大日本麥酒帝國製麻日本皮革北海道セメント等吾等ノ耳ニ馴レタル會社ノ出品多ク柱ニ北海道ノ人口、銀行鐵道等其他百般事物統計ヲ掲ゲテ現狀ヲ窺フニ便シ中央ニ位スル燈臺ニ擬シタル北海道塔ノ内部四面ニハ北海道ノ名所舊跡ノ寫眞障壁ト支柱ニハ各種ノ生産品ヲ嵌入セルハ大ニ凝リタル意匠ナリ各種陳列棚ノ背景ハ水彩畫ニシテ是レ亦北海道ノ深林大澤ヲ描キテ其風景ヲ偲バシメタリ

▲關東州 大連港ノ模型ハ青山泰石氏入念ノ設計ニテ見事ニ出來タリ鷄冠山北砲臺ノ大模型ハ日露戰爭前後ノ有様ヲ寫シ故乃木大將ガ苦戰ノ跡ナレバ時節柄低徊去ル能ハザルモノ多シ滿洲農民並ニ官吏ノ住居ヲ摸セル家屋入口ノ左右ニアリ滿鐵ノ出品セル帝國海軍協會ノ義勇艦第三船ノ模型ハ一見ス可キモノナリ其他滿洲鹽業小野田セメント東亞煙草等各社ノ出品ハ何レモ一瞥シテ滿洲ノ產業狀態ヲ知ルニ足ル可シ滿洲ニ外國ヨリ輸入スル物品ヲ蒐集陳列セルハ打テ見タル所何ノ奇モナケレトモ本邦商工業者ノ心ヲ潛テ觀覽ス可キモノナリ

第六章 審査

第一節 審査規則

出品物ノ審査ハ博覽會ノ事務中最モ重要ナルモノニシテ苟クモ出品物ノ經濟上ニ於ケル眞價ノ判定ヲ誤ランカ其影響ノ及ブ所極メテ大ナルヲ以テ審査員ノ議定ニ深甚ノ注意ヲ拂ヒ拓殖局ノ熱心ナル援護幹旋ニ依リ幸ニ各部門共ニ當代第一流ノ専門家ニ囑託スルヲ得配スルニ關係各廳ヨリ選拔シタル審査員ヲ以テシ

最モ公平ニ最モ嚴正ニ審査ノ事務ヲ了シ毫モ出品人ノ之レニ對シ苦情ヲ唱フルモノナカリシハ本會ノ大ニ感謝スル所ナリ本會ニ於テ定メタル審査規則ハ左ノ如シ

拓殖博覽會出品審査規則

- 第一條 本會出品ヲ審査スル爲メ左ノ役員ヲ置ク
 - 審査總長 一名
 - 審査部長 五名
 - 審査員 若干名
 - 審査書記 若干名
- 第二條 審査總長ハ總裁之ヲ推薦シ審査部長及審査員ハ審査總長之ヲ囑託シ審査書記ハ會長之ヲ任命ス
- 第三條 出品ノ審査ハ各部官廳ノ出品、參考品、出品人ノ審査ヲ辭シタル品ノ外悉皆審査スルモノトス
- 第四條 審査員ハ第六條ノ部類別ニ從ヒ分擔審査ス但一種類三名トシ若シ缺

審査規則

七六

員ヲ生シタルトキハ他類ノ審査員ヨリ兼補スルコトヲ得

第五條 審査部長ハ其部ニ於テ一名ノ審査主任者ヲ定メ豫メ其姓名ヲ審査總長ニ申告スヘシ

第六條 各部出品ノ種類ハ概ネ左ノ如シ

農産部

米 麥 粟 豆 生絲 繭 胡麻 落花生 干薑 蘿蔔 薯蕷 玉蜀黍
果物各種 泥藍 麻各種 蓮草 蘭草 木綿 藥種 蔬菜各種 種子各種
除蟲粉 農具各種 肥料各種 馬具各種

水産部

乾魚各種 鹽藏魚各種及其製品 介類 海藻類 魚油 魚具

林産部

木材類 樹皮澁液 燐寸材料 曲輪 椎茸 木炭各種 龍眼殼 檳榔樹
及其實 干芭蕉 棉花 棕梠

鑛産部

石炭 骸炭 硫黃鑛 硫黃各種 大理石 褐鐵鑛 銅鑛 滿俺鑛 合金

工業部

銀 粗銅 砂金 石灰各種 セメント原料 硫酸各種 鑛物製品肥料
砂糖 飴 菓子各種 茶各種 釀造品類 織物各種及其原料 染料各種
蠟燭 油類 線香及香料各種 金屬製品 木竹製品 家具 陶磁器 瓦
煉化 スレート 携帶品 經木 經木真田及其製品 紙及紙製品 襪
鞋各種 頭飾品 石材製品 各種罐詰類 獸皮各種 獸皮製品 獸角類
鳥獸剝製

第七條 審査員ハ審査着手ノ時審査事務所ヨリ附點紙ノ交付ヲ受ケ成ルヘク現場ニ就テ精査熟鑑シ合議附點ス但意見ヲ異ニスルモノアルトキハ各自附點スルモ妨ナシ

第八條 審査ハ十月廿一日着手シ十一月十七日迄ニ附點ヲ終了シ十一月八日各部會議ヲ開キ審査本會議ヲ經テ確定スルモノトス

第九條 審査付點擬賞ノ標準ハ左ノ如シ

九十六點以上百點 名譽賞牌
九十一點以上九十五點 金賞牌

審査規則

七七

七十六點以上九十點

銀賞牌

五十六點以上七十五點

銅賞牌

三十一點以上五十五點

褒賞

第十條 審査各部長ハ其部ノ附點紙ヲ取纏メ遺漏ナキヤ否ヤヲ調査シ之ヲ審査書記ニ交付シ書記ハ之ヲ受テ審査原簿ヲ調製スヘシ

第十一條 各部審査會議ハ審査部長中互選ヲ以テ座長ヲ定メ各部ノ審査員ト共ニ其權衡當否ヲ審議ス

第十二條 審査本會議ハ審査總長議長トナリ審査部長ヲ招集商議シテ擬賞ヲ確定ス

第十三條 審査本會議ニ於テ確定シタル審査擬賞表ハ書記之ヲ調製シテ審査總長ニ呈シ審査總長ハ之ヲ總裁ニ呈シ贈賞ヲ稟請スルモノトス

第十四條 審査員ハ審査中ハ勿論褒賞贈與式ヲ終ル迄秘密ヲ嚴守シ決シテ審査上ノ事項ヲ他ニ漏洩スヘカラス

第十五條 審査書記ハ審査ニ係ル一切ノ書類ヲ整理シ之ヲ事務所ニ引渡スヘシ

第二節 審査ノ分掌

審査員ノ囑託了ルヤ十月廿一日審査室ニ於テ第一回ノ打合會ヲ開キ審査總長男爵九鬼隆一審査ノ方針ニ就テ一場ノ訓示ヲ與ヘ關係各應選拔委員外審査員ノ事務ノ分擔ヲ左ノ如ク定メタリ

農業部

審査部長

農學博士

古

在

由

直

審査員

岡田鴻三郎

小林房次郎

山下協人

山中源太郎

宮地鐵治

辻暢太郎

林産部

審査部長

林學博士

村

田

重

治

審査ノ分掌

審査ノ分掌

審査員

白澤保美

佐藤振五郎

水産部

審査部長

審査委員

伊谷以知二郎

高橋孝治

下啓助

鑛産部

審査部長

審査委員

西尾銈次郎

大日方順三

細井岩彌

工業部

審査部長

工學博士 高山甚太郎

第三節 擬賞

農業、林業、工業ノ三部ハ十月廿三日、鑛産部ハ廿六日、水産部ハ廿八日ヨリ
審査ニ着手シ十一月八日最終ノ會議ヲ開キ擬賞ヲ確定シタリ其成績左ノ如シ

擬賞品種別表

賞別	品別		名譽	金	銀	銅	褒	計
	農産	林産						
農産	一二	一一	五〇	一二四	一八二	三三五	七〇三	
林産	一	五	四	一〇	三三	五三		

審査委員

辻本滿丸

佐伯勝太郎

佐藤壽衛

平野耕輔

平山英三

松倉順一

梶川圭造

藤井祐敬

場淺圭造

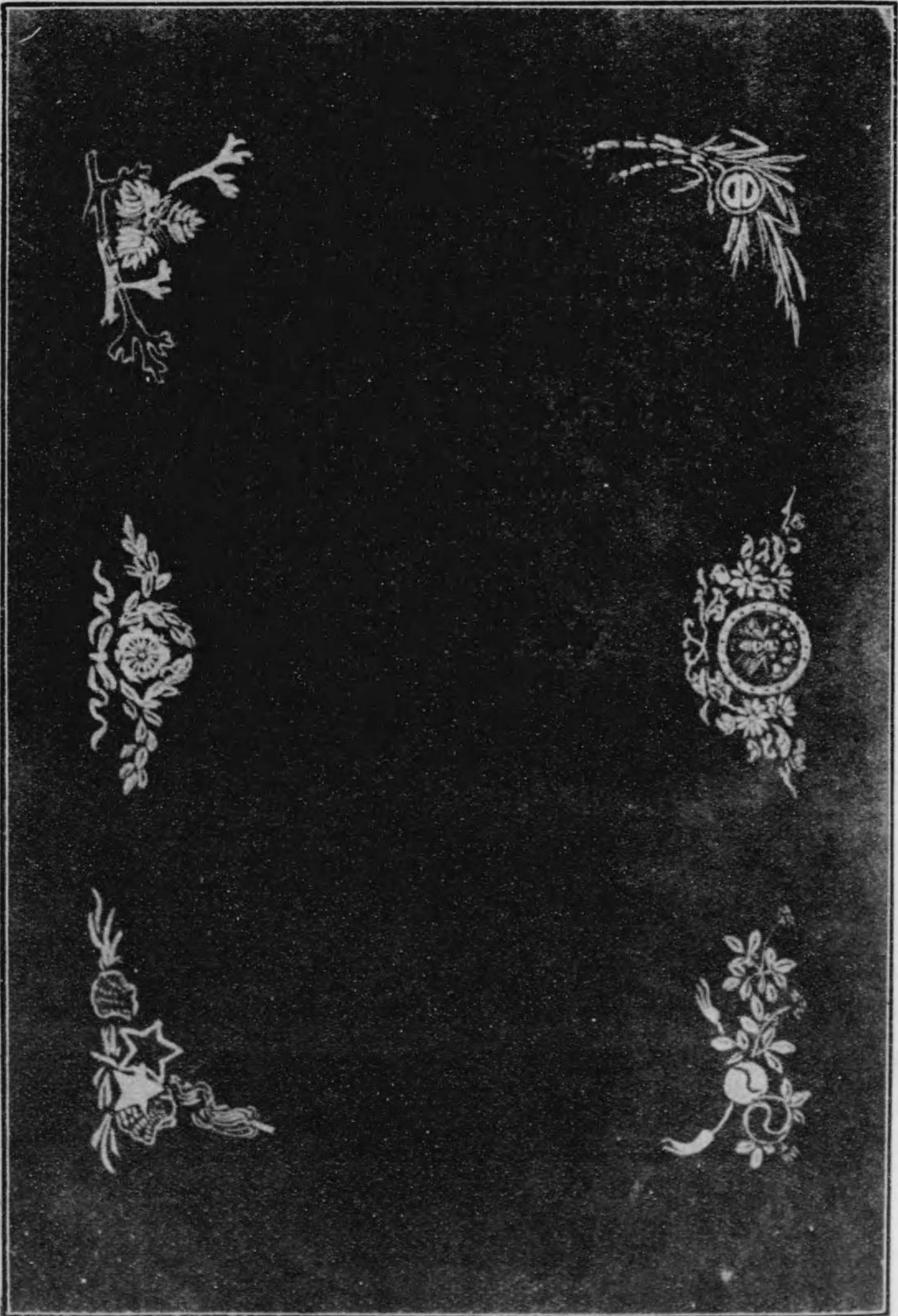
前田健次郎

水産	鑛産	工業	計
五	四	一一	三三
一一	三	二二	九〇
二五	五	五七	二一五
六一	八	九二	三五二
六四	六	一四五	五八三一、二七四
一六六	二六	三二六	

更ニ之ヲ各廳別トスルハ左表ノ如シ

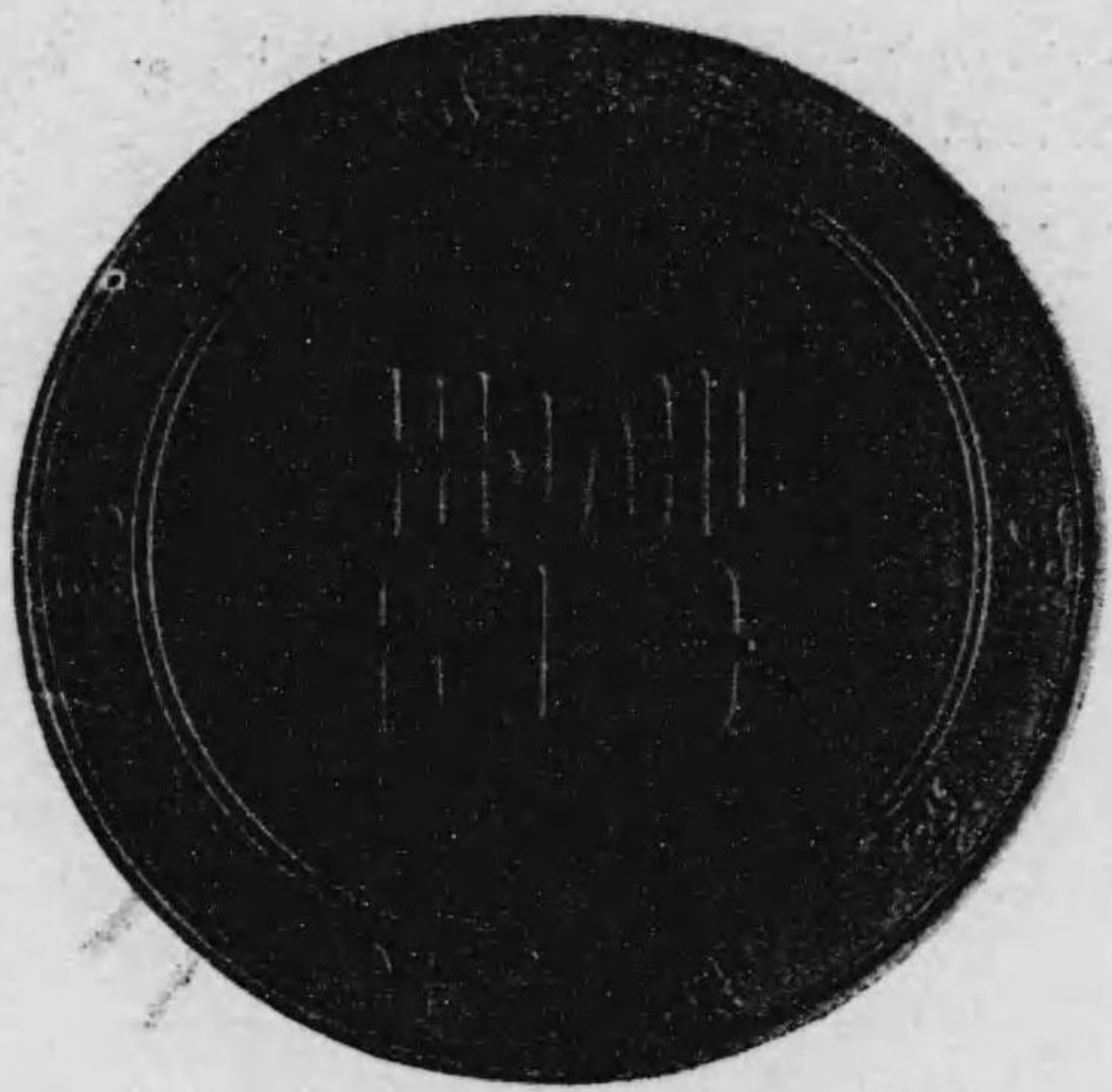
擬賞廳別表

廳別	賞別	名譽	金	銀	銅	褒	計
朝鮮		四	二四	八〇	一五〇	二七六	五三四
臺灣		一一	一八	四二	七一	一五五	二九七
關東州		三	二	三	三	三	一四
樺太		二	六	九	一六	二〇	五三
北海道		一一	四〇	八一	一一三	一二九	三七六
計		三三	九〇	二一五	三五三	五八三一、二七四	



名譽賞牌、金賞牌、銀賞牌、銅賞牌証狀及褒狀ノ圖樣同一
 ニシテ各狀ノ中央ニ小篆ニテ拓殖博覽會ノ五文字ヲ漉
 込ミ名譽賞牌証狀ニハ品名及出品人氏名ノ外贈賞ノ理
 由ヲ記入シテ贈與シタリ

裏面



牌名



銅。色銀ハ牌銀。色金ハ牌金念記。牌賞名念記。牌賞名
シ同皆ハ型圖モル異各ハ字文ノ面表テシニ製銅ハ牌

第四節 贈賞人名

審査既ニ了リ擬賞既ニ決シタルヲ以テ賞狀ノ圖案ヲ定メ篆書ニテ拓殖博覽會ノ
五字ヲ漉込メル特製鳥ノ子用紙ニ印刷シ筆耕ヲ督シテ所要ノ字句ヲ記入セシメ
參考品ニ對シテ贈與シタル記念賞狀ト共ニ十一月二十五日舉行シタル褒賞贈與
式ニ於テ悉ク之ヲ出品人ニ交付シタリ名譽金牌記念名譽金牌ニ對スル薦告文及
受賞人名左ノ如シ

名 賞 金 牌 (朝鮮)

煙草
農業經營
朝鮮海産組合事業成績
製革各種

東亞煙草株式會社
東 山 農 場
朝鮮海産組合
朝鮮皮革株式會社

金 賞 牌 (同)

贈賞人名

贈賞人名

米 同 同 同 同 同 同 同 同 同
大麥 小麥 大豆 同 同 同
煙草(葉) 煙草月世界(紙卷) 煙草キリン(紙卷) 人蔘

八四

麗達組合
川崎藤太郎
崔昌厚
朝鮮農會慶北支會
李宗祐
金泰文
姜信奎
佐谷瀧太郎
李載九
郭楨鎬
黃斗永
東洋煙草商會農場
大石勘吉
廣江澤次郎
孫鳳洋

銀賞牌(同)

苹果 同 綿 明太 同
醬油(印) 絹織物各種 織紐各種 鮑水養罐詰

米 同 同 同 同

贈賞人名

八五

林田藤吉
中原房一
李集玉
吳明根
韓海漁業株式會社支店
日本醬油株式會社
漢城美術品製作所
京城織紐株式會社
今市友吉
島谷八十八
高明五
馬場嘉藏
今村市次郎

贈賞人名

米 同

八六

爽	琴	朴	朴	金	張	權	金	朴	曹	村	閔	柳	金	岩
教	文	小	干	善	鳴	魯	應	永	永	井	永	寅	庚	田
守	榮	守	應	起	玉	順	浩	學	學	農	寄	冕	洙	平
應	苑	苑	苑	苑	苑	苑	苑	苑	苑	苑	苑	苑	苑	之

韓國興業株式會社太田出張所

裸麥

同

大豆

同

同

同

同

小豆

同

大麻

苧麻

蜀黍

栗

馬鈴薯

甘藷

葉煙草

贈賞人名

韓國興業株式會社黃州支店

允	桂	蘇	培	聖	敬	相	淳	元	九	大	九	善	九	鐘
允	聖	聖	聖	聖	聖	聖	聖	聖	聖	聖	聖	聖	聖	聖
允	聖	聖	聖	聖	聖	聖	聖	聖	聖	聖	聖	聖	聖	聖

八七

福地義作

贈賞人名

葉煙草 同 同 同
剗煙草(金大黒印)
莞草
人蔘
人蔘
梨
同
苹果
同
干鱒
綿
同

韓國興業株式會社慶山出張所

李光默
金台郷
金宗云
海江田一
趙性旭
孔聖學
李祖一
佐心正
植田義夫
白石鐵次郎
植田義夫
龜谷愛介
洪承寓
曹百淳

贈賞人名

同 同 同
煙草(卷)白山
同吾妻
同鹿兒島
同
同
同
生糸
晒天草
海參
干鮑
若布

金台健
金箕春
張宜相
釜山煙草株式會社
東洋煙草商會
前園商會
洪益朱
女子養蠶傳習所
黃海道養蠶傳習所
朴丙基
宋秉峻
周晶會
加藤惣太郎
柳屋長太郎
徐漢宗

贈賞人名

朝鮮紙各種
紙各種
清酒(光武)
同(チエリー正宗)
醬油(官印)
同(園印)
燒酎
麻布
苧布
織物各種
木綿綾織外二種
綾斜綾
莞草製品各種
銀製花瓶各種
銀製周拱昇外各種

鮑水羨罐詰

銅賞牌(同)

同同同同同同同同同同同米

贈賞人名

九〇

鄭斗煥
朝鮮製紙株式會社
宅合名會社仁川支店
山内莊平
宮川五郎三郎
大塚宗三郎
三興酒造合資會社
李鐘德
朴炳憲
鄭斗煥
金德昌
朴泳吉
小倉武之助
漢城美術品製作所
李相弼

淡盛商會

片桐和三
宋國鉉
朴成云
朴榮來
宋榮稷
李采珍
李德亨
私立吉州農林學校
孫成泰
崔命翼
康信德
朝鮮實業株式會社木浦支店

九一

贈賞人名

苹果

同

同

梨

同

葡萄

同

蜂蜜

同

干饅

同

綿

同

同

同

同

贈賞人名

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

韓國興業株式會社木浦出張所

九六

北川佐七

白石鐵次郎

渡邊三郎

山内清三郎

戶川龜喜郎

守屋忠四郎

李弼主

金鐘

尹允

朱基

許貞

趙大鉉

金洛中

朴禮淳

金寅洙

成永植

宋晃源

宋秉峻

宋鐘憲

鄭鎮弘

宋秉峻

宋秉峻

宋秉峻

宋秉峻

宋秉峻

九七

韓國興業株式會社太田出張所

金洛中

朴禮淳

金寅洙

成永植

宋晃源

宋秉峻

宋鐘憲

鄭鎮弘

宋秉峻

宋秉峻

宋秉峻

宋秉峻

宋秉峻

九七

贈賞人名

甘藷
昆布
天草
同
同
同
晒布海苔
布海苔
鱈煎子
同
海參、干鮑
干草魚
乾民魚
鹽魴、鹽石首魚
明太

九八

朴光具
高雲善
朴琪弘
李東萃
淡盛商會
岩崎新平會
周品會
山本利七
尹有利現
長島清吉
渡邊德造
釜山水產株式會社統營支店
朴柄善
朝鮮水產組合龍岩浦支部
安弘錫

二番錫

朝鮮紙及和紙
朝鮮紙
同
和紙
清酒(三巴正宗)
清酒(寒牡丹)
清酒(菱正宗)
醬油(印)
味噌
木綿織物
白木綿及タオル
紬
麻布
鼠木綿、綾斜子、保多織

贈賞人名

九九

增野熊雄
吳得泳
崔萬榮
韓德秀
英陽郡製紙所
三巴酒釀造所
原田龜吉
辻酒造株式會社
赤松繁夫
宮川五郎三郎
三浪津機業傳習所
平壤女子養蠶機業傳習所
永興郡女子蠶業傳習所
鄭真朝
中條平藏

贈賞人名

木綿織物及生苧
瓦斯糸織
柞蠶糸織賢吾袖
明袖
元羅
苧布
斑布緞、新羅緞
鶴骨製品同羽團扇各種
刺綉巾着繡枕
朝鮮人足袋、足袋各種
籐篋竹製菓子盆外各種
鮑水養鐘詰
鮑水養鐘詰
鯛ノ花
人三糖

一〇〇

廣 興 儀 泰
李 聖 賢
李 秉 秀
李 致 俊
李 仁 秀
李 致 俊
車 仁 奎
李 芳 燮
海 市 商 會
漢城美術品製作所
大山兄弟商會
光州工業合名會社
石 本 龜 吉
吉 田 兼 吉
小 西 啓 次 郎
井 上 宜 文

人蔘南薰飴
高麗人三飴
陶器

褒 狀 (同)

公孫樹下仙房
井上藥品部
寒田儀作

玄米
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同

崔 鎮 李
李 東 燁
崔 順 西
姜 昌 善
劉 奎 詰
金 成 煥
秋 應 天
新 井 藏
崔 養 浩
崔 希 元

贈賞人名

一〇一

同稗同同同同同同同粟同同同蜀黍

贈賞人名

李鄭李 李昌爽 李具台 李龍會 李致彬 金程致 金致中 崔秉錫 韓國興業株式會社黃州支店
 金宗鉉 李秀鳳 金炳觀 李昌德 朱昌德 李炳觀 金宗鉉 韓德林

一〇七

同黍同苧麻同同同同麻豌豆綠豆同同同小豆

贈賞人名

元池成 元昌成 李基成 李光燮 韓國興業株式會社三浪津出張所
 吳村井農 吳在場 柳炳在 柳在場 李晃求 李鎮求 朴明鎮 朴明鎮 河燦在 河燦在 李燦在 李燦在 南喆明 南喆明 金明浩 金明浩

一〇六

同 甘藷 同 同 同 同 馬鈴薯 同 同 同 在 玉蜀黍 同 同 稗

贈賞人名

崔 韓 藤 藤 村 鄭 金 金 柳 金 李 姜 李 金 金
斗 相 原 原 岡 益 炳 希 洪 爽 和 鶴 承 宗 斗
成 先 助 良 郎 燮 淵 洙 根 鉉 榮 喜 摸 鉉 煥

一〇八

同 南瓜 煙草(剝) 同 同 同 同 同 同 葉煙草 煙草 同 同 同 同 同 同 同

贈賞人名

朴 廬 盧 金 李 村 上 莊 林 朴 朴 中 李 內 白
來 鎮 東 觀 光 井 野 寬 佐 基 京 昌 倉 得 藤 敬
顯 國 鎮 浩 默 場 門 郎 宗 秀 雲 郎 奉 助 云

一〇九

煙草

贈賞人名

同同同同同同同同同同同同同同同

金徐錫 李遠 金昌 朴顯 俞鎮 俞致 李秉 金周 金聖 金利 金應 朴周 李利 金應 金聖 金利 金應 朴周 李利 金應 金聖 金利 金應

一一〇

同莞草 同綿 同同同同同同同同同同同同同同同

贈賞人名

韓國興業株式會社木浦出張所
池禹 金時 金相 張斗 金箕 金丁 金鐘 金禮 金洛 金明 李起 朴學 李華 李錫
李豐 李煥

一一一

贈賞人名

人蔘

同

同

果物(洋梨)

果物(梨)

同(苹果)

同(同)

同(同)

干鰯

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

贈賞人名

平壤女子養蠶機業傳習所

龍川稚蠶共同飼育所

黃海道養蠶傳習所

町田佐太夫

李鐘麟

金奎鎬

權奎鎬

金秀玗

李元玗

金憲相

中島倉太郎

韓興煙草合名會社

鄭鎮弘

瑞興地方金融組合

姜翊周

一一三

一一二

黃注東

韓鶴準

任甲準

守屋忠四郎

林田藤吉

伊藤彌八

井上宜文

朝鮮興業株式會社鳥致院農場

洪在淳

張應瑞

中村俊松

梅本應太郎

田中貢

東西煙草商會

村上三

贈賞人名

真綿
同
木炭
干蕨
椎茸
胡桃
檫皮
五葉松實
岩茸
天草
布海苔
布海苔、塗朴
塗朴
煮干鰯
大羽鰯煎子、脊割鹽鯖

一一四

韓國興業株式會社太田出張所

宋 秉 峻
李 允 序
金 琮 錫
西 鄉 武 十
金 基 淵
鄭 喆 榮
申 亨 植
民 谷 藤 三 郎
金 命 坤
千 原 勸 兵 衛
岩 崎 新 平
金 應 文
中 村 俊 松
荒 川 岩 助

大羽真煎鰯、秋刀魚(乾)

海參
同
海參、干鮑
干鮑、鮑殼
蝦米
大蓬仙蝦
煙
蝦卵
鹽鯖
同
躬長魚
明太
明太
朝鮮紙

贈賞人名

江原道濱漁業實習所

千 原 勸 兵 衛
柳 屋 長 太 郎
豐 田 國 吉
金 寬 汝
朴 晦 焜
洪 鐘 範
天 木 壽 夫
章 爾 燦
史 弘 益
姜 敏 燮
柳 龍 元
張 仁 吉
北 魚 輸 出 組
金 禹 錫

一一五

贈賞人名

朝鮮紙
和紙
朝鮮紙
朝鮮紙及和紙
朝鮮紙
同
同
清酒(誠菊)
同(勝本)
同(雞林)
醬油(△印)
醬油溜(三印)
燒酒
シヤンペンサイダー
絹縞織物及綾織

一一六

與陽郡恩賜授產事業製紙傳習所

金敬八
李焯洙
李民僖
李在炯
奇宇采
金鐘九
深見勝三郎
今西峯三郎
西田嘉惣一郎
村田源次郎
山内莊平
田中周助
澤木嘉左衛門
春川機業傳習所

贈賞人名

木綿浮織
兩色木綿
瓦スシルケット晒白地及紬
軍威沙
白木綿
紬
明紬
柞蠶織切
元羅
元羅
木絹
麻布
同
縞紬
生紬

馬山府恩賜授產機業傳習所

大邱府恩賜授產機業傳習所

尙州機業組合
軍威機業組合
車濟鎬
魯禎周
鄭昌根
康濟博
金基恒
李炳模
李炳模
李民僖
權寧採
權僖淳
李敬善
金觀鎮

一一七

贈賞人名

麻布
苧布
褥衣
莞筵
白紋蓆
筵
花筵
簾
褥蓆
同
雙間煙草入
神仙爐
刺繡額
木製托鉢
竹皮蓆

一一八

權中星
廬冕鎬
李台健
李茂信
趙性旭
恩賜授產慶山郡製筵傳習所
全周鉸
崔炳燁
朴來品
金泰圭
金景連
扈根協
金錫華
崔判相
榮

團扇各種
黃石卷蓆函
青石卷蓆函
寫真(少女)
寫真(朝鮮擔軍の家)
明袖

瓦斯織物
海老の花
人蔘漬
栗羊羹
石鹼

名譽金牌(臺灣)

砂糖
同

贈賞人名

金昌賢
全京五
金永誅
土肥太郎
岸川九郎
李秉龜
恩賜授產星州機業傳習所
松尾庫三
海商會
進辰馬
渡邊文治
臺灣製糖株式會社
鹽水港製糖株式會社

一一九

贈賞人名

砂糖

同

同

同

烏龍茶

金銀銅鑛業に關する出品

金銀鑛業に關する出品

酒精

竹紙料及製紙

砂糖

同

同

同

一一〇

明治製糖株式會社

大日本製糖株式會社

東洋製糖株式會社

臺灣糖業聯合會

臺北茶商公會

田中長兵衛

合名會社藤田組

臺灣製糖株式會社

三菱製紙所

新高製糖株式會社

北港製糖株式會社

帝國製糖株式會社

新興製糖株式會社

金牌(同)

同

米

同

苧麻

烏龍茶

同

紅茶

鯨節

同

金銀銅業に關する出品

酒精(印)

大甲帽子外各種

黃麻製品各種

鳳梨罐詰

贈賞人名

林本源製糖場

宜蘭農會

臺中農會

宜蘭農會

三好德三郎

大庭永成

日本臺灣茶株式會社

臺灣海陸產業株式會社

臺灣水產株式會社

木村久太郎

明治製糖株式會社

大甲帽席合資會社

臺灣製麻株式會社

臺灣鳳梨罐詰株式會社

一一一

贈賞人名

石炭
スレート
蘆草紙
大甲帽子外各種
林投帽及原料
棕柁バナマ帽
白苧麻布
竹製寢臺外各種
衝立其他竹製品各種
竹製品各種
竹製三層籃外各種
木象眼茶盆
鳳梨罐詰
落花生油

一二四

賀田金三郎
篠塚初太郎
吳炳華
笠神多利六
木田傳藏
合資會社吉野屋商會
鹿港機業組合
柳原雅一
稻垣孫兵衛
嘉義竹器製造傳習所
詹陳恭
陳瑞寶
黃須紀鳳梨罐詰製造場
臺灣製油株式會社

銅牌(同)

米
同
同
同
同
烏豆
烏豆
綠豆
白花豆
米豆
胡麻
同
同

贈賞人名

一二五

張朝海
謝朝
蔡北農
臺春
吳科
李允
賴水
胡水
李天
李天
丁漏
吳明
單明
張朝海
謝朝
蔡北農
臺春
吳科
李允
賴水
胡水
李天
李天
丁漏
吳明
單明

贈賞人名

落花生
同
同
三角蘭草
草棉
泥藍
文旦
黃麻
包種茶
同
烏龍茶
綠茶
林投纖維
落花生之粕
繭

一二六

李天慶
吳祺養
蘇養
苑裡帽席公司
山內正俊
王老樹
陳遇春
臺中農會
李錦修
陳天來
李火來
池田正秀
苑裡帽席公司
臺灣製油株式會社
山田格之丞

贈賞人名

生絲
護謨樹の造林
孟宗竹蔴竹及桂竹材
棕枳
樺材鍬及鋤柄材及培齒
鯉節
扁魚
石花菜
同
石油
石炭
石炭及骸炭
スレート
石灰及大理石
石灰石及石灰

一二七

新竹廳農會
村井嘉義造林所
沙連堡竹林組合
簡連權
新竹製材株式會社
小野原孫一
陳石頭
臺灣水產株式會社
金高喜一郎
寶田石油株式會社
青木太三郎
菅沼寬藏
臺東拓殖合資會社
田中長兵衛
高島鈴三郎

贈賞人名

硫黃礦及製煉硫黃
米粉
甘藷澱粉
甘藷澱粉
米粉
豆簽
蕎草紙
和紙
林投帽子各種
林投帽子各種
芋麻織物各種
卷蓆入、敷物、提靴
籐製籠
竹器、茶盆、其他各種
竹籠

一二八

臺灣起業株式會社中澤彥吉
渡部辰五郎
蘇根煌
新田正右衛門
陣
蔡
金線發
宇都宮謙藏
片山德次郎
苑裡帽蓆公司
利澤簡機業組合長林維
潘氏濃語律
蕃童教育所
沙連堡竹林組合
揚聰

金製鯉魚時計提ヶ蝶笄

銀製竹筏置物

鳳梨罐詰

同

鯛田狀

密錢柑餅

李糕

密錢(明姜)

文且皮砂糖漬

芭蕉煎餅

密錢金柑糖

龍眼

陶器植木鉢

褒狀(同)

贈賞人名

萬泉
吳榮涼
濱口富三郎
秀芳商行陳鎮印
三協箆
林田膽爾
劉求安
吳鮮
余傳爐
角梅次郎
朱婦次
村井嘉義造林所
簡榮福

綠豆 同 豌豆(白花豆) 同 米豆 同 胡麻 同 同 同 同 同 同 同 同 同 花生 同 附賞人名

陳李鐘李李李李李邱孫許蔡余林顏蘇
海慶天東燿玉萬祖阿孝
水良賜海科楚點冬祿泉玉是鎮世子

玄米 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 烏豆 同 同 同 同 附賞人名

江張林游吳邱江南江江潘潘中李李詹
投無武村嘉東燿萬
觀茂俊
農會營掠生郡林傑
得楚周郎濃吻酉章會營掠生郡林傑

贈賞人名

落花生

同

同

芋麻

同

同

同

黃麻

同

同

同

三角蘭

蘭草

綿

モラスキツト

蘇

沈

蘇

臺灣南部產業株式會社

黃

陳

李

蔡

林

許

陳

北投疊席製造組合

賴

嘉義廳農會

臺南製糖株式會社

朝

朝

芊

春

永

和

憲

章

淵

鎮

民

春

建

會

泥藍

同

姜黃

鳳梨纖維

同

烏龍茶

同

同

同

同

紅茶

同

同

同

同

贈賞人名

蘇

陳

臺灣南部產業株式會社

張

蔡

黃

趙

藍

易

劉

林

劉

新

國

臺

葉

葛

元

瑞

文

送

來

生

秋

德

扶

會

藏

會

農

贈賞人名

生糸
同
樟板
烏心石及棟板
龍眼板
黑柿板
黑柿卓子、火鉢及花鉢材料
梓ステッキ材
同
杯
檳榔樹床柱及竿緣
孟宗竹及校力齒
改良黑炭
割藤
黃藤

一三四

山田格之丞
臺北廳農會
三井物產合資會社臺灣出張所
臺灣製腦合名會社
張添
中國昌賢
瀬戸山熊吉
岡本健吉
渡邊仁市
林健榮
嘉義產業合資會社宇都宮謹藏
劉潤
金瓜石鑛山宜蘭出張所
陳捷陸
南投廳農會

同
薯榔
茯苓
木綿及鷄母珠
鹿角
同
水牛角
鳥類剝製及昆蟲標本
同
虱目魚
鮫仔魚干
鱸魚
鱸鰻
丁香干
鮑鱸魚干

贈賞人名

一三五

蘇和
張
へツタラカンリネ
服部鏗太郎
林儀鳳
鄭邦黨
陳恩
朝倉喜代松
高羽貞將
鄧玉
許
李
蕭宗
林

贈賞人名

石花菜
 柴菜
 石灰
 砂金
 製煉硫黃
 文石
 粗竹紙
 同
 鳳梨葛布
 七島蘭席
 簾蓆
 木細工品其他各種
 竹製籠各種
 布製白色襪スリッパ
 刺綉張前蝶魚隊

一三六

澎湖海產株式會社
 鄭良清
 黃和尙
 顏雲年
 許源泉
 具志堅克常
 陳為
 林春枝
 陳茂
 原田勝
 賴大鼻
 原長一
 黃杏
 陳友
 黃寶

贈賞人名

花明女鞋
 錫製梨茶瓶
 銀製牛車置物
 夜光貝印材及玉各種
 文石硯其他各種
 菊花木製茶托
 革製枕
 林投製茶托
 檳榔扇
 水牛角
 同
 鹿角
 同
 花鹿鹿角
 水鹿鹿角

一三七

翁聯登
 張輝海
 孫秋之
 鎌井進
 塚越榮三
 辻清吉
 何林
 小丁熊
 陳清
 林清
 陳丁
 張清
 臺東カヤ
 鄭邦マ
 林儀
 翁聯登
 張輝海
 孫秋之
 鎌井進
 塚越榮三
 辻清吉
 何林
 小丁熊
 陳清
 林清
 陳丁
 張清
 臺東カヤ
 鄭邦マ
 林儀
 翁聯登

贈賞人名

鯉大和養罐詰
豚澱麩
鯛田麩
鳳眼糕
剝龍眼
密錢柑餅
芭蕉餡
芭蕉煎餅
龍眼肉
各瓜餡
李仔糕
密錢李仔糕
陶器
胡麻油、落花生油

一三八

宜蘭水產公司
董塗
宮崎彌
鄭榘
服部鍛太
陳全
寶來福五郎
角正太郎
陳朝
陳代
蘇代
朱婦
烏海元
蔡祖元

胡麻油
茶油
蠟燭
同
同
同
線香
同
線香及香珠
同
同
烏沈香
同
米粉
素麵
キャツサバ澱粉

贈賞人名

一三九

楊元
林智
候定
吳春
張受
施汝
會智
柯德
甘瑞
阮生
游阿
陳茂
林福
謝應
嘉義
嘉應農會

贈賞人名

アロウルト澱粉

蕃薯簽

乾筍

同

同

檳榔果實

一四〇

水間兼攀

林欽

塗乞食

吳開英

沙連堡竹林組合

葉金松

名譽金牌 (關東州)

煙草

大日本鹽業株式會社製鹽事業成績

石炭及骸炭

ホルトランドセメント

小野田セメント株式會社大連支店

東亞煙草株式會社

大日本鹽業株式會社

本溪湖煤鐵有限公司

小野田セメント株式會社大連支店

金牌 (同)

高粱酒

九鬼榮助

黃燐燐寸及軸木

日清燐寸株式會社

銀牌 (同)

罐詰

醬油 (各印)

同 (各印)

東本嘉八

旅順醬油釀造合資會社

田村忠一

銅牌 (同)

甲付錫

味噌

石鹼

平岩曼三郎

植田龍藏

萬玉總太郎

褒狀 (同)

シヤンペンサイダー

石鹼

村上喜太郎

畑中繁太郎

贈賞人名

一四一

贈賞人名

石嶮

一四二

幡田義之助

名譽金牌 (樺太)

建網事業及其製品
組合事業及製品

樺太建網漁業水産組合聯合會
樺太西海岸南部水産組合

金牌 (同)

燕麥
薯蕷
樺太產落葉松枕木、
榎松函板及各種の木材
蝦夷松板材
鹽鯧
蟹罐詰業成績

樺太西海岸農會
樺太西海岸農會
三井物産株式會社
太出張所
大橋 清吉
樺太鹽鯧製造水産組合
樺太西海岸罐詰業水産組合

銀牌 (同)

薯蕷
小麥
燕麥
割箸
鯨油
ツンドラ製板紙
蟹罐詰
鱈罐詰業成績
鱈肝油

留多加積善農會
樺太西海岸農會
豐原競農場
人見金太郎
大日本水産株式會社
樺太ツンドラ板紙株式會社
大戸與三兵衛
樺太建網漁業水産組合聯合會
平野友安

銅牌 (同)

薯蕷
大麥
小麥
裸麥

豐原競農會
西海岸農會
豐原競農會
西海岸農會

贈賞人名

一四三

贈賞人名

蕎麥
豌豆
鯨肉粕
落葉松木管
落葉松及蝦夷松樽丸
海參
乾北寄
同
花折昆布
乾蝦
半紙
蟹煎餅

褒狀(同)

大麥

豐原競農會
豐原競農會
大日本水產株式會社
大門宅七
遠藤米七
海馬島部落
東峯與次郎
追手部落
須永近太郎
遠淵水產業組合
都築達馬
山田藤吾
豐原競農會

裸麥
ライ麥
蕎麥
豌豆
稻黍
同
肥料シユシヤモ搾粕
鯨白子
蝦松蝦夷松及落葉松板材
下駄材
鹽鱈
シシヤモ鰓刺シ及緋開干
緋煮干
海扇
雲丹滋養煮

贈賞人名

豐原競農會
西海岸農會
西海岸農會
西海岸農會
豐原競農會
竹田榮作
山崎喜作
大門宅七
前田豐吉
五十嵐億太郎
竹田榮作
紺野仁太郎
海馬島部落
米木六右衛門

贈賞人名

落砂糖漬
昆布品
角形フレッツブ餅
鱈田麩

一四六

鈴木莊治
久慈保治郎
村山文治郎
貝森利三郎

名譽金牌(北海道)

農場經營法

松平農場

人造肥料

大日本人造肥料株式會社函館工場

鯨搾粕

松村秀次郎

檜及椴松挽材

三井物産株式會社小樽支店

根室外四郡水産組合事業成績

根室外四郡水産組合

石炭及骸炭

北海道炭礦汽船株式會社

小麥粉

札幌製粉株式會社

洋紙

王子製紙株式會社

同

富士製紙株式會社

札幌ビール、札幌黒ビール、ミュヘンビール
酒精(熊印)
亞麻織物各種
ポルトランドセメント

大日本麥酒株式會社
札幌支店
神谷酒造合資會社第一釀造所
帝國製麻株式會社
北海道セメント株式會社

金牌(同)

米
同
亞麻莖
苹果
莖苔
青豌豆
菜豆
小豆
大豆

中河徳右衛門
福井善吉
松村鐵之助
小栗富藏
竹内惣三郎
村山永藏
森銀之丞
田中與三郎
根本大助

贈賞人名

一四七

贈賞人名

大豆
牧草
燕麥
小麥
同
大麥
鯨搾粕
同
農場經營法
農場經營法
蝦夷松及挽松及栓挽材
燐寸軸木
營林の方法
燻製鮭
長切昆布

一四八

高野 貞助
札幌興農園主小田良治
大新農業組合
藤田 卯之助
飯田 龍太郎
小村 龜十郎
赤坂 市三郎
高野 平治
小林 直三郎
前田 農場
小樽木材株式會社小樽支店
良燧合資會社網走工場
北海道造林合資會社
松吉 直彦
八木 安太郎

鹽鮭鯨油
鹽鮭
鯨油
燻製鯨鹽製鯨
石炭
含金銀粗銅及銅鑛
馬鈴薯澱粉
同
清酒(富久天狗)
醬油(☆印)
麥芽
白熊皮外各種
蟹罐詰
鮭罐詰外
麥酒罐

贈賞人名

藤山 要吉
柳田 一郎
松村 いま
廣谷 順吉
奔別炭鑛株式會社
小田 良治
八雲澱粉同業組合長川口良昌
奈井江片栗同業組合長金子仙太郎
札幌酒造株式會社
石橋 彦三郎
大日本麥酒株式會社札幌支店
松下 熊槌
碓氷 勝三郎
藤野 辰次郎
大日本麥酒株式會社札幌支店

贈賞人名

鱈肝油

銀牌(同)

岡村德次郎

一五〇

牧場經營法
農場經營法

米

同

同

馬鈴薯

玉葱

同

同

種子類(甘藍、燕麥、胡蘆蘿、豌豆、菜豆種子)

蘋果

同

柳田一郎

蜂須賀農場

伊藤金太郎

濱瀬京太郎

河田門藏

吉村彦九郎

水落與吉

岩波勇五郎

橋本利八

札幌植産園

高山多吉

佐藤源八郎

梨(洋種)

玉蜀黍

薯苔

青豌豆

菜豆

小豆

大豆

同

洋犁

牛酪

燕麥

小麥

同

大麥

裸麥

大平成德

十勝開墾合資會社農場

音田愛三郎

辻野五右衛門

更科澤治

住友吉平

大鐘千代三郎

關井龜次郎

札幌工作株式會社

福澤農場

大道彌十

渡邊勝太郎

由川十免吉

横山春三郎

中村哲郎

贈賞人名

一五一

贈賞人名

鯨搾粕
同
同
鱈搾粕
同
同
蠶種
同
同
生糸
燐寸軸木
燻製鮭
海參
同
貝柱

一五二

柳田一郎
厚田水産組合
西川貞二郎
宇美繁太郎
伊達基
瀨下龍吉
五井伊次郎
末松格平
田村忠藏
札幌製糸場主名取好勝
赤松兵三代文
渡邊俊造
宗谷水産組合
西川與八
大河範之丞

鯨節
長切昆布
元揃昆布
身欠鯨
棒鱈
同
同
同
同
刻昆布
余市水産組合事業成績
歌棄水産組合事業成績
遊樂部川鮭魚孵化事業成績
網地
石炭
硫黄礦及製煉硫黄

下岡利七
久野源藏
宇美駒吉
小黒濱藏
富島熊次郎
島村六太郎
川守田哲雄
中村末吉
函館昆布同業組合
余市水産組合
歌棄水産組合
遊樂部川鮭魚蕃殖組合
千葉養次郎
安田鑛業所
奥尻鑛山鑛業代理人早瀬忠太郎

贈賞人名

一五三

贈賞人名

硫黃礦及製煉硫黃
馬鈴薯澱粉
同
同
同
清酒(岩泉)
同(朝の井)
同(北の譽)
同(花吹雪)
葎花
臘虎皮外各種
壹頭立馬車曳具
馬具類
澁エキス
タンニンドライエキス

一五四

鹿部 鑛山
上川澱紛同業組合長西村勇治
神谷信太郎
川上淺太郎
有隣農場
山口由太郎
朝明酒造合資會社
野口吉次郎
岡田松市
大日本麥酒株式會社札幌支店
中村新八
龜谷卯之助
島口福藏
日本皮革株式會社製澁所
新田帶革製造所小勝製澁工場

蟹罐詰

鮭罐詰

蟹罐詰

同

燻製鮭

青豌豆罐詰

臙昆布、白髮昆布、とろ、昆布

煉瓦

菜種油及白絞油

銅牌(同)

農場經營法
牧場經營法
農場經營法
丹羽部落概況

贈賞人名

五ツ星罐詰合資會社

丸三組

星野佐紀

和泉庄藏

廣谷順吉

水嶋隣太

植田元次郎

久保兵太郎

北海道製油株式會社

興復社

赤心合資會社染野牧場

曾我農場

丹羽五郎